

保健学部

●臨床検査技術学科●		●看護学科・看護養護教育学専攻●	
物理学・医用工学研究室	119	母子看護学研究室	128
臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ研究室	119	基礎看護学研究室	129
分子生物学研究室	119	学校看護学研究室	129
解剖学・細胞生物学研究室	119	精神保健看護学研究室	129
病理学研究室	120	在宅看護学研究室	129
臨床血液学研究室	120	成人老年看護学教室	130
免疫学研究室	120	病態学研究室	130
臨床微生物学教室	121		
臨床検査学研究室	121	●臨床工学科●	
生体検査学	121	生命支援工学研究室	131
細胞診断学研究室	121	先端臨床工学研究室	132
臨床検査教育学研究室	121	生理・生体・情報工学研究室	132
		血液浄化療法学研究室	133
		循環器病態生理学研究室	133
		生理機能検査学研究室	134
●健康福祉学科●			
環境保健学研究室	121	●理学療法学科●	
公衆衛生学研究室	122	基礎理学療法学研究室	134
心理学・社会福祉学研究室	123	運動障害系理学療法学研究室	135
健康教育学研究室	123	小児発達障害系理学療法学研究室	136
生理学研究室	124	神経障害系理学療法学研究室	136
		内部障害系理学療法学研究室	137
●救急救命学科●			
救急救命学研究室	124	●作業療法学科●	
救急処置病態学研究室	124	母子保健学研究室	138
医療安全管理学研究室	125	運動器障害作業療法学研究室	138
		精神障害作業療法学研究室	138
		認知障害作業療法学研究室	139
		中枢神経障害作業療法学研究室	140
●看護学科・看護学専攻●	125		
基礎・在宅看護学研究室	125	●診療放射線技術学科●	
成人・高齢者看護学研究室	126	画像診断学研究室	141
母子看護学研究室	126	診療放射線技術学研究室	141
助産学研究室	126	医用理工学研究室	142
小児看護学研究室	126	放射線安全管理学研究室	142
地域看護学研究室	126	量子医療技術学研究室	142
精神看護学研究室	128	分析化学Ⅱ研究室	143
医療科学Ⅰ研究室	128		

● 臨床検査技術学科 ●

物理学・医用工学研究室

講演

1. 田村陽介, 田中薫, 川澄岩雄: ノニバミド(Nonivamide) の水素供与に関与する分子軌道と結合解離エネルギーの検討. 日本薬学会第135年会, 神戸, 2014年3月25-28日.

その他

1. 川澄岩雄: 平成26年度第1回～第3回臨床検査技師模擬試験問題, 医歯薬出版株式会社, 2014年9月, 11月, 2015年1月.

臨床薬理学 I・II 研究室

講演

1. Yokokawa A, Motoo M, Sakai S, Shibasaki-Hirano H, Hosoda K, Ishii K, Furuta T: A novel index for assessing 3β -hydroxysteroid dehydrogenase activity in humans based on the measurement of plasma concentrations of dehydroepiandrosterone and androstenedione. 20th IMSC International Mass Spectrometry Conference, Switzerland, August 24th-29th, 2014.
2. Shibasaki-Hirano H, Hosoda K, Yokokawa A, Ishii K, Furuta T: In vivo cytochrome P450 3A activity in a pregnant woman as measured by endogenous 6β -hydroxylation clearance. 20th IMSC International Mass Spectrometry Conference, Switzerland, August 24th-29th, 2014.
3. 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: 大豆イソフラボン摂取が血清エストロジオール濃度と月経周期へ及ぼす影響. 日本薬学会第135年会, 神戸, 2015年3月25-28日.
4. 横川彰朋, 山崎祐理子, 柴崎浩美, 細田香織, 石井和夫, 古田隆: HPLC-UVによるEGFRチロシンキナーゼ阻害剤ゲフィチニブとエルロチニブの血中濃度測定法の開発. 日本薬学会第135年会, 神戸, 2015年3月25-28日.

論文

1. 石川千尋, 細田香織, 石井和夫: きな粉摂取後のヒト血漿および尿中における (R)-equol および (S)-equol の検出. 杏林医学会誌 45(補遺):s1, 2014.

分子生物学研究室

論文

原著

1. Momose Y, Aimi Y, Hirayama T, Kataoka M, Ono M, Yoshino H, Satoh T, Gamou S: *De novo* mutations in the BMPR2 gene in patients with heritable pulmonary arterial hypertension. *Ann Human Genet* 79(2):85-91, 2015.
2. Fujiwara K, Takahashi T, Nguyen P, Kubota Y, Gamou S, Sakurai S, Takahashi S: Uptake and retention of radio-caesium in earthworms cultured in soil contaminated by the Fukushima nuclear power plant accident. *J Environ Radioact* 139: 1-5, 2015.

総説

1. 下島裕美, 三浦雅文, 門馬博, 齋藤昭彦, 蒲生忍: メタ認知を促す医学教育—4ボックス法の可能性を探る—(Medical Education that Stimulates Metacognition: Examination of the Possibilities of the Four-Box Method). *杏林医学会雑誌* 46(1): 3-10, 2015.

解剖学・細胞生物学研究室

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 樹状細胞様S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10の機能解析. 第29回日本下垂体研究会学術集会, 八王子, 2014年8月9-11日.
2. 東森生, Khongorzul Batchuluun, 堀口幸太郎, 屋代隆: ラット下垂体前葉におけるtissue inhibitor of metalloproteinase発現細胞の同定. 第29回日本下垂体研究会学術集会, 八王子, 2014年8月9-11日.
3. 瀧上周, 新井景子, 遠藤花奈, 加藤愛理, 金内勇人, 吉澤友理恵, 長谷川瑠美, 堀口幸太郎, 大迫俊二: 慢性ストレス負荷ラットにおける眼優位可塑性. 第157回日本獣医学会学術集会, 札幌, 2014年9月9-12日.
4. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 塚田岳大, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内S100タンパク質陽性細胞から分泌されるケモカインCXCL10のIFN- γ による制御. 第41回日本神経内分泌学会学術集会, 東京, 2014年11月1-3日.
5. 大迫俊二, 瀧上周, 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 館野こずえ: ニューロン分化におけるC2HC型Znフィンガー転写因子の機能解析. 第43回杏林医学会総会, 三鷹, 2014年11月15日.
6. 村田麻喜子, 蒲生忍: ヤマトヒメミズの2つの生活史とその転換. 第43回杏林医学会, 三鷹, 2014年11月15日.
7. 村田麻喜子, 大迫俊二: ヤマトヒメミズの再生・分化に関与する遺伝子探索と発現プロファイル. 第37回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014年11月26日.
8. 東森生, Khongorzul Batchuluun, 堀口幸太郎, 菊地元史, 屋代隆: ラット下垂体前葉内における各種細胞外マトリックスの動態: I. 性腺刺激ホルモン産生細胞のホルモン放出への影響. 第120回日本解剖学会総会, 京都, 2015年3月21-23日.
9. 上春浩貴, 吉田彩舟, 西村直人, 樋口雅司, 堀口幸太郎, 加藤たか子, 加藤幸雄: 下垂体における神経堤由来細胞とS100 β の発現. 第119回日本畜産学会, 宇都宮, 2015年3月27-30日.
10. 西村直人, 上春浩貴, 西原大翔, 渋谷汐里, 吉田彩舟, 樋口雅司, 堀口幸太郎, 加藤たか子, 加藤幸雄: 下垂体特異的転写因子PROP1のプロモーター活性とその制御. 第119回日本畜産学会, 宇都宮, 2015年3月27-30日.

論文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Yoshida S², Higuchi M², Tsukada T¹, Kanno N², Yashiro T¹, Tateno K, Ohsako S, Kato T², Kato Y²(¹Jichi Medical University, ²Meiji University): Isolation of dendritic cell-like S100 β -positive cells in rat anterior pituitary gland. *Cell Tissue Res*. 357:301-308, 2014.
2. Fujiwara K¹, Maliza R¹, Tofrizal A¹, Batchuluun K¹, Ramadhani D¹, Tsukada T¹, Horiguchi K, Kikuchi M¹, Yashiro T¹(¹Jichi Medical University): In situ hybridization analysis of the temporospatial I expression of the midkine/pleiotrophin family in rat embryonic pituitary gland. *Cell Tissue Res*. 357: 337-344, 2014.
3. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Higuchi M², Yoshida S², Tsukada T¹, Ueharu H², Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y²(¹Jichi Medical University, ²Meiji University): Expression of chemokine CXCL10 in dendritic

cell-like S100 β -positive cells in rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 357:757-765, 2014.

4. Yoshida S¹, Ueharu H¹, Higuchi M¹, Horiguchi K, Nishimura N¹, Shibuya S¹, Mitsuishi H¹, Kato T¹, Kato Y¹(¹Meiji University): Molecular Cloning of Rat and Porcine Retina-Derived POU Domain Factor 1 (POU6F2) from Pituitary cDNA Library J Reprod Dev. 60:288-294, 2014.
5. Horiguchi K, Higuchi M¹, Yoshida S¹, Nakakura T², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T¹, Kato Y¹(¹Meiji University, ²Teikyo University): Proton receptor GPR68 expression in dendritic cell-like S100 β -positive cells of rat anterior pituitary gland: GPR68 induces interleukin-6 gene expression in extracellular acidification. Cell Tissue Res. 358:515-525, 2014.
6. 堀口幸太郎, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: 下垂体前葉内に存在するS100 β タンパク陽性細胞のサブタイプの単離とその機能解析. 杏林医学会誌 45(4):137-143, 2014.
7. Tsukada T¹, Fujiwara K¹, Horiguchi K, Azuma M¹, Ramadhani D¹, Tofrizal A¹, Batchuluun K¹, Maliza R¹, Syaidah R¹, Kikuchi M¹, Yashiro T¹(¹Jichi Medical University): Folliculostellate cells are required for laminin release from gonadotrophs in rat anterior pituitary. Acta Histochem Cytochem. 47:239-245, 2014.

著書

1. 長谷川瑠美: 第4章軟骨と骨, 8章循環系. ガードナー/ハイアット 組織学第3版アトラスとテキスト. 松村讓兒, 川上速人監訳. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014.p.78-105, p.176-197.
2. 大迫俊二: 第6章筋, 7章神経組織. ガードナー/ハイアット 組織学第3版アトラスとテキスト. 松村讓兒, 川上速人監訳. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014.p.124-149, p.150-175.
3. 堀口幸太郎: 第10章内分泌系, 16章泌尿器系. ガードナー/ハイアット 組織学第3版アトラスとテキスト. 松村讓兒, 川上速人監訳. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014.p.228-253, p.382-405.
4. 瀧上周: 第12章呼吸器系, 19章特殊感覚. ガードナー/ハイアット 組織学第3版アトラスとテキスト. 松村讓兒, 川上速人監訳. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014.p.278-301, p.456-480.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 堀口幸太郎: プロテオグリカンによる下垂体前葉細胞の形態・機能調節機構の解明. 科学研究費補助金(若手研究B) 2014年度代表研究報告書.

病理学研究室

講演

1. 大河戸光章: 子宮頸部上皮内腫瘍における新しいハイリスク型HPVの検出状況. 京都・金沢STIエキスパートミーティング, 京都, 2014年6月13日
2. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子, 藪崎宏美, 椎名義雄, 吉永陽樹, 福井正, 藤井雅彦: 免疫細胞化学技術の進歩 その臨床実践的アプローチ 細胞診標本のための改良 in situ PCR法. 第55回日本臨床細胞学会春季大会, 横浜, 2014年6月5日.
3. 佐藤亮太, 伊藤彩美, 木戸晴菜, 和泉大輝, 加藤千裕, 鳥塚由貴,

中里真依, 山本寛, 大河戸光章, 藤井雅彦: 試作プロテイン銀のBodian染色への検討. 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会, 蒲田, 2014年8月20-22日.

臨床血液学研究室

講演

1. 東克巳, 西村伸大, 関根名里子: 血液検査学における臨床検査技師の卒前・卒後教育-技師教育施設における血液検査学教育-. 第14回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 2014年7月27-28日.
2. 武藤祐子, 富田知子, 西村伸大: 美容室におけるリラクゼーション効果の研究.-アミラーゼ測定, アンケート調査による検討-. 第73回日本公衆衛生学会, 栃木, 2014年11月5-7日.
3. 武藤祐子, 富田知子, 西村伸大: 美容室におけるリラクゼーション効果の研究.-アミラーゼ測定, アンケート調査による検討-. 第21回日本未病システム学会, 大阪, 2014年11月1-2日.
4. 西村伸大: アロマセラピー基礎講座~エッセンシャルオイルを用いたリラクゼーション~. いちよう塾, 八王子, 2014年6月28日, 7月5,12日(第1回)/2014年7月19,26日, 8月2日(第2回).
5. 東克巳: 見逃しては行けない形態と血液検査所見. 平成26年度 第3回日臨技首都圏支部医学検査学会, 木更津, 2014年9月13日.
6. 東克巳: 血液専門技師と認定制度. 平成26年度中部圏支部臨床血液部門研修会, 岐阜, 2014年12月14日.

免疫学研究室

講演

1. 小野川傑, 田口晴彦: 臨床検査教育において「学生の考える力」をどうやって引き出すか? -免疫検査学実習の場合-. 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 2014年8月20-22日.
2. Taguchi H, Arae K, Kurata S, Kamiya S: *Mycoplasma pneumoniae* antigens induce IL-8 production using EGFR pathway. The 6th Meeting of the Asia Organization for Mycoplasmaology (6th AOM), China, August 22nd-25th, 2014.
3. Kurata S, Arae K, Taguchi H, Kamiya S: *In vitro* and *vivo* analyses of Th 17 response stimulated by *Mycoplasma pneumoniae* antigens. The 6th Meeting of the Asia Organization for Mycoplasmaology (6th AOM), China, August 22nd-25th, 2014.
4. 蔵田訓, 大崎敬子, 米沢英雄, 花輪智子, 田口晴彦, 神谷茂: *Mycoplasma pneumoniae* 菌体抗原感作がT細胞サブセットに及ぼす影響. 第48回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会学術集会, 広島, 2015年1月30-31日.
5. Kurata S, Osaki T, Yonezawa H, Hanawa T, Taguchi H, Kamiya S: Effects of *Mycoplasma pneumoniae* antigens on asthmatic chemokine responses by murine splenocytes. 第88回日本細菌学会総会学術集会, 岐阜, 2015年3月26-28日.

論文

1. Unno H^{1,2}, Futamura K², Morita H^{2,3}, Kojima R^{2,4}, Arae K², Nakae S^{2,5,6}, Ida H¹, Saito H², Matsumoto K², Matsuda A² (¹Jikei University, ²National Research Institute for Child Health and Development, ³Keio University, ⁴National Defense Medical College, ⁵The Institute of Medical Science, The University of Tokyo and ⁶PRESTO): Silica and double-

stranded RNA synergistically induce bronchial epithelial apoptosis and airway inflammation. *Am J Respir Cell Mol Biol.* 51: 344-53, 2014.

2. Kurata S¹, Osaki T¹, Yonezawa H¹, Arae K, Taguchi H, Kamiya S¹ (¹Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine): Role of IL-17A and IL-10 in the antigen induced inflammation model by *Mycoplasma pneumoniae*. *BMC Microbiol.* 14: 156, 2014.
3. 神谷茂¹, 蔵田訓¹, 田口晴彦 (¹杏林大学医学部感染症学講座): 医学領域における肺炎マイコプラズマ感染症の基礎と臨床. *家畜診療* 61: 331-338, 2014.

著書

1. 田口晴彦: 標準微生物学. 第47章臨床症状から病原診断へ実習に役立つ細菌分離培地の基礎. 中込治, 神谷茂編. 東京, 医学書院, 2015. p. 604-609.

臨床微生物学研究室

講演

1. 橘田和幸, 出嶋靖志, 出嶋優華: 癌の死亡率と, TFR・母乳育児率・初産年齢との関係-先進国と途上国および, 男女の比較. 第84回日本衛生学会学術総会, 岡山, 2014年5月25-27日.
2. 森田耕司, 渡辺登, 北島勉: 本学大学院国際協力研究科における国際医療協力の実践的な学びと研究. 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 2014年8月20-22日.
3. 森田耕司, 渡辺登: 微生物学関連の講義に興味を芽生えさせるために-温故知今, 温故知新-. 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 2014年8月20-22日.
4. 橘田和幸, 出嶋靖志, 出嶋優華, 鳥尾克二: 観光資源の評価における健康関連項目について. 第79回日本民族衛生学会総会, 筑波, 2014年11月21-22日.
5. 清水君恵, 出嶋靖志, 出嶋優華, 大木紫: 目隠し・耳栓の装着および室内環境が安静時の瞳孔観察によるストレスに及ぼす効果-心拍変動のスペクトル解析を用いた評価-. 第79回日本民族衛生学会総会, 筑波, 2014年11月21-22日.
6. 日暮芳己, 森田耕司, 佐藤智明, 奥川周, 森屋恭爾: CMY-2 β -lactamase産生 *E.coli*のphylogenic groupによる分類. 第26回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 東京, 2015年1月31日-2月1日.

論文

1. 日暮芳己¹, 岡崎充宏², 森田耕司, 森屋恭爾¹ (¹東大病院・感染制御, ²東京工科大・医療保健): 連鎖球菌. *感染症内科* 2: 544-551, 2014.

著書

1. 日暮芳己, 森田耕司: 一般細菌薬剤感受性試験, PK(薬物動態)/PD(薬力学)パラメーターと感受性検査の概説. *臨床検査データブック2015-2016*. 高久史磨監修. 東京, 医学書院, 2015. p.493-498.
2. 森田耕司: 保冷装置, 滅菌装置. 最新 臨床検査学講座 検査機器総論. 三村邦裕, 山藤賢編. 東京, 医歯薬出版, 2015. p.63-72.

臨床検査学研究室

講演

1. 元文綺, 菺田照子, 坂内久一: *Chlamydomonas pneumoniae*分

離のための高度感受性HL細胞のクローニング. 第32回日本クラミジア研究会学術集会, 京都, 2014年9月27日.

著書

1. 坂内久一: III章菌種別の培養・同定方法37「クラミジア/クラミドフィラ」. *臨床検査増刊号58巻11号 微生物検査イノベーション*. 岩田敏ほか編. 東京, 医学書院, 2014. p.1380-1383.

生体検査学研究室

論文

1. Aiso T, Kamiya S¹, Yonezawa H¹, Gamou S² (¹Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, ²Department of Molecular Biology, Faculty of Health Sciences, Kyorin University): Overexpression of an antisense RNA, ArrS, increases the acid resistance of *Escherichia coli*. *Microbiology.* 160(Pt 5):954-61, 2014.

著書

1. 村椿春博, 八巻明子: クレアチニン, クレアチン, 尿酸, ビリルビン. 新版「臨床化学」第3版. 片山善章, 栢森裕三, 長村洋一編. 東京, 講談社, 2014. p.161-173.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 相磯聡子: 肺癌の早期診断を目指した血中miRNA定量に関する基盤的研究. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)2013年度 研究実施状況報告書.

細胞診断学研究室

講演

1. 郡秀一, 籾ひろみ, 飯島淳子, 安井英明: 核と核小体の染色法の特徴. 第56回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 横浜, 2014年6月5-7日.

臨床検査教育学研究室

講演

1. 小野川傑, 田口晴彦: 臨床検査学教育において「学生の考える力」をどうやって引き出すか? -免疫検査学実習の場合-. 第9回日本臨床検査学教育学会学術集会, 東京, 2014年8月20-22日.

著書

1. 小野川傑: 7.3 免疫凝集反応. 新版臨床免疫学第3版. 山田俊幸, 大戸斉, 渥美達也, 三宅幸子, 山内一由編. 東京, 講談社, 2014. p.78-82.
2. 小野川傑: 8.2.3 HIVとHTLV-I 感染症. 新版臨床免疫学第3版. 山田俊幸, 大戸斉, 渥美達也, 三宅幸子, 山内一由編. 東京, 講談社, 2014. p.122-128.
3. 小野川傑: 8.2.4 その他の感染症. 新版臨床免疫学第3版. 山田俊幸, 大戸斉, 渥美達也, 三宅幸子, 山内一由編. 東京, 講談社, 2014. p.128-132.

● 健康福祉学科 ●

環境保健学研究室

講演

1. Kaneko T, Goto K, Yamada I: A public health service

model as a part of countermeasures against the risk of environmental noise. 11th International Congress on Noise as a Public Health Problem, Nara, June 1st-5th, 2014.

2. 荻津真理子: 学校における救急救命の体制づくり. 東京農業大学第3高等学校, 教職員研修会, 東松山, 2014年7月4日.
3. 内田敦美, 渡辺ルカ, 高瀬初美, 大和久清子, 荻津真理子, 白橋ひろ子, 久場陽子, 大谷尚子: 学校における医療用医薬品の管理・使用に関する現状と課題—学会員対象の質問紙調査結果から—日本学校救急看護学会. 第9回学術大会, 東京, 2014年7月4日.
4. 荻津真理子: 心のケアと教育相談の対応. 10年次経験者研究講座(養護教諭), 友部, 2014年7月9日.
5. 荻津真理子: 学校健康教育研究部会の指導助言・講話. 小美玉市教育研究発表会, 小美玉, 2014年8月1日.
6. 荻津真理子: 食物アレルギーへの対応. 笠間市健康教育部研修会, 笠間, 2014年8月5日.
7. 荻津真理子: 養護教諭の執務について. 鉾田市教育会養護教諭研修会, 鉾田, 2014年8月26日.
8. 松塚雅博, 金子哲也, 関健介, 松井幸恵, 大熊鈴子, 石川友美: 水質プロフィールによる多摩西部と国分寺崖線の湧水の検討. 環境科学会2014年会, 筑波, 2014年9月18日.
9. 金子哲也: 航空環境と健康. 第39回空港環境対策担当者研修会, 東京, 2014年10月10日.
10. 関健介, 後藤恭一, 松塚雅博, 金子哲也: 学校水泳プール水の有機物量評価に関しての一考察. 第74回日本公衆衛生学会, 宇都宮, 2014年11月6日.
11. 荻津真理子: 養護教諭部会研究報告会の指導助言・講話. 水戸市学校保健会養護教諭部会研修会, 水戸, 2015年2月24日.

論文

1. 有路智恵, 関健介, 金子哲也: インドネシア看護師候補者の国家試験における困難に関する研究. 民族衛生 80(3):127-143, 2014.
2. 高瀬初美, 荻津真理子, 渡辺ルカ, 内田敦美, 大和久清子, 白橋ひろ子, 久場陽子, 大谷尚子: 学校における医療用医薬品の管理・使用に関する現状と課題—学会員対象の質問紙調査結果から—. 学校救急看護研究 8(1):66-75, 2015.
3. 金子哲也, 後藤恭一: 騒音健康影響の動向. 航空環境研究 19:79-86, 2015.

公衆衛生学研究室

講演

1. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子: 二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価(第2報)多施設調査報告. 第17回日本臨床救急医学会総会, 宇都宮, 2014年5月31日-6月1日.
2. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子: 救急救命士に対する二次救急病院での評価(第2報)多施設調査の報告. 第42回日本救急医学会総会, 福岡, 2014年10月28-30日.
3. 楠田美奈, 岩見文博, 石野晶子, 加藤英世, 大屋千鶴, 片桐朝美, 太田ひろみ, 大嶺智子, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
4. 岡本博照, 照屋浩司, 大嶺智子, 楠田美奈, 深澤進次, 岩見文博, 松井知子, 角田透: 中高年者の脳性ナトリウム利尿ペ

チド(BNP)に影響を及ぼす要因について. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.

5. 中島宏, 照屋浩司, 島田直樹, 真鍋知子, 櫻井裕: 食後高血糖のスクリーニング検査としての1,5-anhydroglucitol. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
6. 北林蒔子, 高宮朋子, 大谷由美子, 小田切優子, 福島教照, 石橋弘子, 下光輝一, 井上茂: 地方自治体職員における亜鉛, 葉酸の摂取と抑うつとの関係について. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
7. 石橋弘子, 高宮朋子, 大谷由美子, 小田切優子, 北林蒔子, 福島教照, 下光輝一, 駒田陽子, 井上雄, 井上茂: 某地方自治体職員におけるスクリーンタイムと睡眠障害の関連. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
8. 竹前理映子, 岡本博照, 松井知子, 阿部淑子, 照屋浩司, 角田透, 竹前健彦: 玄米酵素ハイゲンキスピリナ入り摂取と冷え性との関連について. 第79回日本民族衛生学会総会, つくば, 2014年11月21-22日.
9. 岡本博照, 照屋浩司, 谷口善仁, 角田透: 救命救急センター勤務医師の職業性ストレス 性差での検討. 第85回日本衛生学会学術総会, 和歌山, 2015年3月26-28日.

論文

1. 岡本博照, 照屋浩司: M市運動相談事業データからみた中高年住民の循環器機能—脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)からの検討—. 日本臨床内科医会誌29(2):265-270, 2014.
2. 久保祐美子¹, 岡本博照, 小泉健雄¹, 山口芳裕², 松田剛明², 照屋浩司, 和田貴子¹(¹杏林大・保・救命救急, ²杏林大・医・救急医学): 西多摩医療圏の一病院における二次救急患者の搬送実態: 地理的要因から見た分析. 日臨救医誌 17(4):522-529, 2014.
3. 岡本博照, 神山麻由子¹, 細田武伸², 照屋浩司, 角田透, 和田貴子¹(¹杏林大・保・救命救急, ²鳥取大・医・社会医学): 某市消防局の消防指令要員の職業性ストレス, 燃えつきおよび抑うつについて. 民族衛生80(4):184-198, 2014.

著書

1. 岡本博照: エビデンスに基づく保健対策. エssenシャル 社会・環境と健康 第2版第5刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2014, pp.92-96.
2. 岡本博照: 飲酒行動. エssenシャル 社会・環境と健康 第2版第5刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2014, pp.125-129.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 橋口仁美, 福留斉, 恩田智子, 高畑彦松, 岡田真人, 吉田佳奈, 岡本博照: 僻地診療所での見学—第1報 医療過疎の実態—(第3回学生リサーチ賞受賞者 受賞報告). 杏林医学会雑誌45(1):s3-6, 2014.
2. 恩田智子, 福留斉, 高畑彦松, 橋口仁美, 岡田真人, 吉田佳奈, 岡本博照: 僻地診療所での見学—第2報 診療所の外来見学から見えた僻地での医師像—(第3回学生リサーチ賞受賞者 受賞報告). 杏林医学会雑誌45(1):s7-10, 2014.
3. 高畑彦松, 福留斉, 恩田智子, 橋口仁美, 岡田真人, 吉田佳奈, 岡本博照: 僻地診療所での見学—第3報 通院患者の生活と健康の調査結果—(第3回学生リサーチ賞受賞者 受賞報告). 杏林医学会雑誌45(1):s11-15, 2014.

その他

1. 岡本博照: 平成26年度日本民族衛生学会優秀論文賞受賞「某市消防局の消防指令要員の職業性ストレス, 燃えつきおよび抑うつについて」. 第79回日本民族衛生学会総会, つくば,

2014年11月21日.

心理学・社会福祉学研究室

講演

1. 下島裕美: 死生学教育を考えるー五色カード法を体験してみようー. 在宅ホスピスケア・ボランティアさくら研修講演会, 東京, 2014年6月12日.
2. 下島裕美: 死生学教育を考える. 第6回杏林大学CCRC研究所セミナー, 東京, 2014年6月20日.
3. 下島裕美: 時間的展望から死生学教育を考える. 日本心理学会公開シンポジウム「医療の質・安全に役立つ心理学研究を考える」, 東京, 2014年7月26日.
4. 下島裕美: エンディングノートの記入項目と時間的展望. 日本パーソナリティ心理学会第23回大会, 甲府, 2014年10月5日.
5. 下島裕美: 死について考える教育. 日本認知心理学会公開シンポジウム, 京都, 2014年10月18日.
6. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美, 石野晶子, 加藤英世, 大屋千鶴, 太田ひろみ, 大嶺智子, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
7. 熊井利廣: 地域のネットワークはなぜ大切かー狛江市の子育て支援と虐待防止. 狛江市要保護児童対策地域協議会講演会, 東京, 2014年11月7日.
8. 熊井利廣: 地域の連携はなぜ大切かー三鷹市の子ども家庭支援ネットワークの始まりと今ー. 三鷹市要保護児童対策地域協議会講演会, 東京, 2015年2月16日.
9. 熊井利廣: なぜ児童委員の活動が大切か. 東京都民生委員・児童委員連合会講演会, 東京, 2015年2月24日.
10. 下島裕美, 石川智, 島田正亮: 時間的展望から死について考える. 日本発達心理学会第26回大会, 東京, 2015年3月20日.

論文

1. 大木幸子, 片桐朝美: 生活保護受給世帯の児童・若者支援における効果的な支援方法の検討. 杏林CCRC研究所紀要 1:188-192, 2014.
2. 下島裕美: 終末期に向けた思考整理ツールとしてのエンディングノートについて. 杏林大学研究報告教養部門 32:1-7, 2015.
3. 下島裕美, 島田正亮¹⁾(杏林大・医): 生徒指導における不足情報の認識についてー教職実践演習におけるメタ認知能力を促す試みー. 杏林教職課程年報 創刊号:45-52, 2015.
4. 下島裕美, 三浦雅文²⁾, 門馬博¹⁾, 齋藤昭彦¹⁾, 蒲生忍¹⁾(杏林大・保, 杏林大・保健学研究科): メタ認知を促す医学教育ー4ボックス法の可能性を探るー. 杏林医学会雑誌 46:3-10, 2015.

著書

1. Sircova A, Vijver FJR, Osin E, Milfont TL, Fieulaine N, Kislali-Erginbilic A, Zimbardo P, 54 members of the International Time Perspective Research Project (Shimajima Y et al.): Time perspective profiles of cultures. In Stlarski M, Fieulaine N, & Beek W (Eds.), Time perspective theory: Review, Research and Application. Springer, 2015. pp.169-187.

健康教育学研究室

講演

1. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクゼーション). 町田市教育委員会初任者研修会セミナー, 町田, 2014年5月8日.

2. 松井知子: これからの職場復帰支援を考えるー心理職の立場からー. メンタルヘルスケア・ジャパン2014セミナー, 東京, 2014年5月27-29.
3. 平岡厚, 関澤浩一: 悪性黒色腫細胞に対するプレオマイシンの増殖抑制作用に及ぼすp-フッ化ベンゼンスルフィン酸(Na塩)の増強効果の検討. 第25回 日本微量元素学会学術集会, 岡山, 2014年7月3日.
4. 角田透, 飯島美世子, 斎藤照代, 炭山隆, 錦戸典子, 松井知子, 森崎美奈子, 山田智子, 野田一雄: 事業場におけるメンタルヘルス対策の有用性を評価するツールの開発. 第21回日本産業精神保健学会, 北九州, 2014年7月11-12日.
5. 松井知子: メンタルヘルス[社内研修の進め方]. 東京産業保健推進センター研修会(人事・労務・衛生管理者研修), 東京, 2014年7月14日.
6. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント. 昭島市教育委員会初任者研修会セミナー, 昭島, 2014年8月1日.
7. 朝野聡: 体育から見た芝生. 日本芝草学会公開シンポジウムさいたま, 2014年8月4日.
8. 関澤浩一, 加藤誠久, 田村高志, 関健介, 黒澤健司, 田辺秀之, 岸邦和: 染色体検査教育のためのヒト核型分析学習ソフトウェア有効活用に向けてーダウンロード用ページへのアクセス解析からー. 第9回 日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 2014年8月20-22日.
9. 朝野聡: ヘルスプロモーションとしての校庭芝生化. 日本芝草学会校庭芝生部会シンポジウム, 東京, 2014年8月31日.
10. 松井知子: メンタルヘルス[社内研修の進め方]. 東京産業保健推進センター研修会(保健師・看護師研修), 東京, 2014年9月8日.
11. 松井知子: メンタルヘルス[社内研修の進め方]. 東京産業保健推進センター研修会(人事・労務・衛生管理者研修), 東京, 2014年9月8日.
12. 堀川浩之, 弓桁亮介, 朝野聡, 石丸由理: 園庭芝生化が幼児の体力に及ぼす影響. 国際幼児教育学会第35回大会, 富士吉田, 2014年9月13.
13. 朝野聡, 石丸由理, 堀川浩之, 弓桁亮介: 幼児のレジリエンスと生活習慣. 国際幼児教育学会第35回大会, 富士吉田, 2014年9月13日.
14. 石丸由理, 朝野聡, 堀川浩之, 弓桁亮介: 富士河口湖町の未来を担う子どもを育てるリミックの取り組み. 国際幼児教育学会第35回大会, 2014年9月13日.
15. 櫻田淳, 北口和美, 大嶺智子, 大原榮子, 加納亜紀: 養成大学における養護教諭初任者支援研修プログラム開発. 第22回日本養護教諭教育学会学術集会, 千葉, 2014年10月12日.
16. 大原榮子, 櫻田淳, 大嶺智子: 私立学校に勤務する養護教諭の研修ニーズに関する調査. 第22回日本養護教諭教育学会学術集会, 千葉, 2014年10月12日.
17. 松井知子: 産業・組織臨床の基礎知識と応用と魅力. 山口県臨床心理士会主催平成26年度第2回全体研修会, 山口, 2014年10月18日.
18. Sekizawa K, Kato T, Tanabe H : Three-dimensional relative positioning of chromosome 21 territories in the 21 trisomy cell nucleus: Comparative analysis by simulation using PC. The 65rd Annual Meeting of the Society of Chromosome Research, Kurashiki, October 24th-25th, 2014.
19. 岡本博照, 照屋浩司, 大嶺智子, 楠田美奈, 深澤進次, 岩見文博, 松井知子, 角田透: 中高年者の脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)に影響を及ぼす要因について. 第73回日本公衆衛

生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.

20. 松井知子:厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わりー関連法規(労働安全衛生法)の理解, 職場環境改善と心理職の役割, メンタルヘルスと法遵守関連法規などー. 平成26年度一般社団法人日本臨床心理士会臨床心理講座「継続講座～産業・組織心理臨床基礎研修(全6回)～」, 東京, 2014年11月15日.
21. 竹前理映子, 岡本博照, 松井知子, 阿部淑子, 照屋浩司, 角田透, 竹前健彦:玄米酵素ハイゲンキスピルリナ入り摂取と冷え性との関連について. 第79回日本民族衛生学会総会, つくば, 2014年11月21-22日.
22. 松井知子:メンタルヘルスの基礎理解ストレスをためないコミュニケーション方法. 社会福祉法人至誠学舎東京サンメール尚和, 西東京, 2014年12月1-2日.
23. Hiraoka A, Sekizawa K, Kondo H:Arylsulfonyl derivatization with arylsulfonates of o-quinones employing endogenous tyrosinase and its substrates in various biomaterials. Active Enzyme Molecules 2014, Toyama, Japan, December 18th, 2014.
24. 松井知子:女性のキャリアに影響する心理的課題～マタニティブルー, 更年期, キャリアの悩み～. 東京経営者協会セミナー, 東京, 2015年1月28日.
25. 松井知子:はたらく場所での心理臨床と労働行政についてー法改正などー最新情報をふまえてー. 千葉県臨床心理士研修会, 千葉, 2015年2月2日.
26. 松井知子:メンタルヘルスの基礎理解 職場のラインケアー. 練馬区教育委員会生活指導主任セミナー, 東京, 2015年2月10日.
27. 松井知子:事例対応における留意点・事例検討. 第4回メンタルヘルス基礎講座 神奈川労働安全衛生協会平塚支部, 平塚, 2015年2月20日.
28. 松井知子:メンタルヘルスの基礎理解とストレスへの対処法. 至誠学舎メンタルヘルスセミナー, 立川, 2015年3月6日.

論文

1. 松橋明宏¹, 新井健一¹, 難波謙二¹, 朝野聡, 佐賀典夫², 弓桁亮介³, 堀川浩之³(¹日本大, ²帝京大, ³昭和大):土グラウンド及び芝生グラウンドにおけるサーフェイスの違いランニング時の身体活動および自律神経活動に及ぼす影響. 日本大学生産工学部研究報告48:11-15, 2015.
2. 新井健一¹, 松橋明宏¹, 難波謙二¹, 朝野聡, 弓桁亮介², 堀川浩之²(¹日本大, ²昭和大):土グラウンドおよび天然芝グラウンドにおける運動による心理的・生理的変化の比較. 日本大学生産工学部研究報告47:11-15, 2014.

著書

1. 松井知子:歯科保健行動. エssenシャル 社会・環境と健康 第2版第6刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2014.pp.132-136.

その他

1. 長見まき子, 松井知子:特集今どきの若者を理解するー若年層のメンタルヘルス不調の特徴と対応. 健康管理61(11). 東京, 保健文化社, 2014.pp.2-22.
2. 松井知子:ストレスチェックをめぐって. 東京経営者協会会報 No.83, 2015. p.18.
3. 関澤浩一:ヒト末梢血リンパ球の分裂中期染色体画像を核型分析実習用として提供(Conventional Giemsa StainおよびGTG-banding; G-bands by trypsin using Giemsaの分裂中期染色体画像).最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学,

医歯薬出版, 第1版第1刷発行, X VII, 2015年2月10日.

4. 大嶺智子:「杏林」の精神を体現できる教員養成をめざして. 2014杏林大学教職課程年報 創刊号, 2-3, 2015年3月31日.

生理学研究室

講演

1. Tanaka K, Ito S, Kurokawa M:Neural control of the rectum in the penaeid shrimp, *Marsupenaeus japonicus*. The 11th International congress of Neuroethology (ICN2014), Sapporo, July 28th-August 1st, 2014.
2. Kurokawa M, Okutani M, Tanaka K: Comparative physiology of the autonomous movements of the gastrointestinal tract in mollusks. The 11th International congress of Neuroethology (ICN2014), Sapporo, July 28th-August 1st, 2014.

● 救急救命学科 ●

救急救命学研究室

講演

1. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子:二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価(第2報)多施設調査報告. 第17回日本臨床救急医学会総会, 宇都宮, 2014年5月31日.
2. 神山麻由子, 久保祐美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子:救急救命士養成校学生の病院内実習の現状と課題. 第17回日本臨床救急医学会総会, 宇都宮, 2014年5月31日.
3. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子:救急救命士に対する二次救急病院での評価(第2報)多施設調査の報告. 第42回日本救急医学会総会, 福岡, 2014年10月28日.
4. 神山麻由子, 久保祐美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子:救急救命士養成校学生の病院内実習に関する調査研究. 第43回杏林医学会, 三鷹, 2014年11月15日.

論文

1. 久保祐美子, 岡本博照, 小泉健雄, 山口芳裕, 松田剛明, 照屋浩司, 和田貴子:西多摩医療圏の一病院における二次救急患者の搬送実態:地理的要因から見た分析. 日臨救医誌 17(4):522-529,2014.
2. 岡本博照, 神山麻由子, 細田武伸, 照屋浩司, 角田透, 和田貴子:某市消防局の消防指令要員の職業性ストレス, 燃えつきおよび抑うつについて. 民族衛生80(4):184-198,2014.

著書

1. 森数美:せん妄. Medical Practice 31(臨増). 東京, 文光堂, 2014. p.175-176.

その他

1. 和田貴子:座長. 救急救命士の再教育. 第17回日本臨床救急医学会総会, 宇都宮, 2014年5月31日.
2. 和田貴子:座長. 第42回日本救急医学会総会, 福岡, 2014年10月28日.

救急処置病態学研究室

講演

1. 小泉健雄:羽村中学校BLS講演.羽村,2014年6月2,9,16日.

2. 小泉健雄:いのちを守ることを伝えるために -AED使用を含めた中学生BLS指導の経験から-. 第42回日本救急医学会総会, 福岡, 2014年10月28-30日.

医療安全管理学研究室

講演

1. 久米梢子, 岡本博照, 久保佑美子, 神山麻由子, 小泉健雄, 和田貴子: 二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価 - 第2報 多施設調査報告-. 第17回日本臨床救急医学会総会, 下野, 2014年5月31日-6月1日.
2. 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子: 救急救命士養成校学生の病院内実習の現状と課題, 第17回日本臨床救急医学会総会, 宇都宮, 2014年5月31日.
3. 川村治子: これだけは知っておきたい! 看護師の直接行為による医療事故防止(2). 三鷹市医師会・杏林大学病院医療安全連携推進講演会第6回医療安全講演会, 三鷹, 2014年10月28日.
4. 久米梢子, 久保佑美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子: 救急救命士に対する二次救急病院での評価(第2報) 多施設調査の報告. 第42回日本救急医学会総会, 福岡, 2014年10月28日.
5. 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子: 救急救命士養成校学生の病院内実習に関する調査研究. 第43回杏林医学会, 三鷹, 2014年11月15日.
6. 川村治子: これだけは知っておきたい看護師の医療事故防止. 東京都庁医療安全講演会, 東京, 2014年11月25日.
7. 川村治子: 知らねばならない“危険”の知識をどう教育するか? - 一具体的事例で考える医療安全教育 -. 地域医療振興会医療安全講習会, 東京, 2014年11月30日.
8. 川村治子: リスクマネジメント手法インシデントレポートの有効活用. 全社会福祉施設経営者協議会「初期リスクマネジャー養成研修会」, 東京, 2014年12月24日.
9. 川村治子: 転倒・転落事故の発生要因と対策~インシデント1,500事例の分析から~. 小田原市民病院講演会, 小田原, 2015年2月10日.

論文

1. 川村治子: 転倒・転落事例分析からみた対策と責任 - 医療安全の立場から -. Modern Physician 34(10): 1203-1206, 2014.
2. 久保佑美子, 岡本博照, 小泉健雄, 山口芳裕, 松田剛明, 照屋浩司, 和田貴子: 西多摩医療圏の一病院における二次救急患者の搬送実態: 地理的要因から見た分析. 日臨救医誌 17:522-529, 2014.

● 看護学科・看護学専攻 ●

基礎・在宅看護学研究室

講演

1. 伊藤まゆみ, 金子多喜子, 大場良子, 藤桂: 看護師用ストレスフルなケアに対する意味づけ尺度の開発. 日本カウンセリング学会第47回大会, 名古屋, 2014年8月29-31日.
2. 米田美智子, 齊藤茂子, 金子多喜子: 社会人経験のある新人看護師の就労継続意欲を支えた要因. 第18回日本看護管理学会学術集会, 愛媛, 2014年8月29-30日.

3. 村野裕子, 齊藤茂子, 金子多喜子: 集中治療室の先輩看護師が新人看護師の成長を感じた関わり. 第18回日本看護管理学会学術集会, 愛媛, 2014年8月29-30日.
4. 津田美智子: 看護学生の心理的ストレス反応の特徴 第2報. 第18回日本看護管理学会学術集会, 愛媛, 2014年8月29-30日.
5. 鈴木聡, 大金ひろみ, 内山研一, 丹内まゆみ: 地域で看取るとはどういうことか? SSMベースのアクションリサーチからの学びのリフレクションの場. 第18回日本看護管理学会学術集会, 松山, 2014年8月29-30日.
6. 伊藤まゆみ, 金子多喜子, 大場良子, 小玉正博: 看護師用終末期ケア効力感尺度の開発. 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第16回大会, 香川, 2014年9月13-14日.
7. 金子多喜子, 伊藤まゆみ, 大場良子, 小玉正博: 看護師のストレスフルなケアに対する意味づけの検討. 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第16回大会, 香川, 2014年9月13-14日.
8. 柴崎美紀: 地域一体型で活躍が期待される歯科衛生士へ看護師として伝えたいこと. 深川塾講演, 東京, 2014年11月2日.
9. 津田美智子: 看護学生のストレス反応と食生活の関連. 第73回日本公衆衛生学会学術集会, 栃木, 2014年11月5-7日.
10. 米澤純子, 美ノ谷新子, 原田静香, 柴崎美紀, 宮近郁子, 入野豊, 山口豊子, 森本喜代美, 丸山美知子: 介護支援専門員のがん終末期患者へのケアマネジメントにおける重要時期とその支援. 第73回日本公衆衛生学会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
11. 伊藤まゆみ, 大場良子, 金子多喜子: 看護師のストレスフルなケアに対する意味づけが終末期ケア効力感に及ぼす影響. 第34回日本看護科学学会学術集会, 名古屋, 2014年11月29-30日.
12. 今留忍, 佐藤智子: 基礎看護学実習を挟む1年間での看護学生のコミュニケーション能力向上. 第34回日本看護科学学会学術集会, 名古屋, 2014年11月29-30日.
13. 添野民江, 千葉正博, 森みさ子, 川畑亜加里, 朝倉之基, 柴崎美紀, 建宮実和, 矢吹浩子: 看護師における臨床栄養の教育問題を考える. 第30回日本静脈経腸栄養学会, 神戸, 2015年2月12-13日.
14. 伊藤まゆみ, 大場良子, 金子多喜子: 終末期ケア看護師のストレスフルなケアに対する意味づけとケア効力感がバーンアウトに及ぼす影響. 第29回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2015年2月28日-3月1日.
15. 大場良子, 伊藤まゆみ, 金子多喜子, 藤桂: 看護師の終末期ケア効力感に関する検討, 第29回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2015年2月28日-3月1日.
16. 原田静香, 宮本千恵美, 柴崎美紀, 中山久子, 岡本美代子: 退院前合同カンファレンスに関する患者家族の受容プロセス - 在宅療養での看取りを検討する家族を対象として -. 順天堂大学医療看護研究会, 浦安, 2015年3月6日.
17. 柴崎美紀: 全国の地域一体型NSTから学んだ活動の現状とこれからの展望. 地域栄養ケアユニット多職種協働学習会(幸手市栄養士会), 幸手, 2015年3月20日.

論文

1. 柴崎美紀: 地域一体型NSTにおける歯科領域との連携ガイドラインの構築へ向けての予備調査. 医療の広場 54(7):27-30, 2014.

著書

- 金子多喜子:アセスメント力がつく!臨床実践に役立つ看護過程. 石川ふみよ監修. 東京, 学研, 2014.p.62-63.
- 金子多喜子:看護に活かすカウンセリング I. 伊藤まゆみ編. 名古屋, ナカニシヤ出版, 2014.p.55-61.
- 山本君子他:第104回看護師国家試験対策プレテスト-2nd 問題・解説. TECOM. 東京, T・M・S, 2014.p.446.
- 津田美智子他:第104回看護師国家試験対策プレテスト-2nd 問題・解説. TECOM. 東京, T・M・S, 2014.p.288,447.
- 津田美智子他:第104回看護師国家試験対策プレテスト-3rd 問題・解説. TECOM. 東京, T・M・S, 2014.p.526,580,692.
- 山本君子他:TECOM インフォメーションサービス 第104回看護師国家試験解答速報(Web サイト記事)解答例の作成. 東京, ティ・エム・エス, 2015.午前問題 p.36-53,88,91-96, 午後問題 p.39-57,76,84,90-96.
- 法橋尚宏, 山本君子他:ラスパ過去問対策 第103回看護師国家試験問題 解説書 第1巻. 東京, 医学評論社, 2014.p.18,32,53,62,81.
- 大金ひろみ, 金子真理子:看護実践のためのがん看護 Vol.4 在宅におけるがん看護と家族へのケア. 東京, 医学映像教育センター, 2014. DVD.

特許等知的財産係, 報告書

- 伊藤まゆみ¹, 金子多喜子, 大場良子², 藤桂³(¹共立女子大学, ²埼玉県立大学, ³筑波大学):がん看護に携わる看護師への教育的支援 -カウンセリング技法を活用した患者の苦悩に対する支援技術の獲得, 安田研究報告書, 癌研究助成成果報告集13, p112-116, 2015.

その他

- 柴崎美紀:たまケアLiveで「野望」の話をしよう~地域包括ケアシステム編. 一般社団法人チーム医療フォーラム季刊誌「ツ・ナ・ガール」夏号, p.8, 2014.

成人・高齢者看護学研究室

講演

- 佐藤澄子:派遣・委託職員教育への取り組みー実践課題6か月後, 1年後に評価を導入してー. 第18回日本看護管理学会学術集会, 愛知, 2014年8月29-30日.
- 吉井真美, 茂木美智子, 藤井知子, 小河百合子, 中島恵美子, 八並光信, 高山信之:造血幹細胞移植患者に実施した運動プログラムの効果の検討. 第37回造血細胞移植学会総会, 神戸, 2015年3月5-7日.

その他

- 中島恵美子:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業連携大学合同市民公開シンポジウム主催, 三鷹, 2014年7月5日.
- 伊藤有美:重症患者の栄養管理, 2014年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 大阪, 2014年7月10-12日.
- 伊藤有美:重症患者の栄養管理, 2014年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 東京, 2014年9月4-6日.
- 中島恵美子:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業がん患者コーディネーター養成(インテンシブ)コース主催, 三鷹, 2014年9月20日-12月13日.

母子看護学研究室

講演

- 大嶋友香, 松岡恵, 西川浩昭:妊婦の性生活に関する健康教

育の実施における助産師の意図, 行動に関連する要因ー計画的行動理論を用いてー. 第34回日本看護科学学会, 名古屋, 2014年11月29日.

- 杉山怜那, 松岡恵, 西川浩明:父子早期接触が第一子誕生後1~2か月の父親のメンタルヘルスに及ぼす影響. 第29回日本助産学会, 東京, 2015年3月29日.
- Naito T, Kubo K, Matsuoka M, Okamoto M: Prenatal and Postnatal Classes in Japan: The Effectiveness of the “Infant Crying Support Program”.第30回International Confederation of Midwives, Czech, June 1st-5th,2014.

論文

- 長田知恵子:母乳哺育で困っています! そのトラブル, 誤解から始まっているかも. 静岡県母性衛生学会学術誌 4(1): 45-47, 2014.

著書

- 長田知恵子:エビデンスをもとに答える 妊産婦・授乳婦の疑問92. 堀内成子総編集, 飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり分担編集. 東京, 南江堂, 2015.

助産学研究室

論文

- 谷口綾, 大久保功子¹, 齋藤真希¹, 廣山奈津子¹, 小田柿ふみ¹, 三隅順子¹(¹東京医科歯科大学大学院):帝王切開で出産した女性の妊娠中から産後1か月までの心理的プロセスー覚悟と納得ー. 日本看護科学学会誌 34:94-102, 2014.

小児看護学研究室

講演

- Kawakami C, Ideno K, Ogawa J, Amano R, Harada K, Morita N, Ishikawa F: Emotional experiences of parents caring for their children with cancer. The 46th Congress of the International Society of Paediatric Oncology, Canada, October 22nd-25th, 2014.

論文

- 吉野純:「親の発達」の概念分析. 日本小児看護学会誌 23(2):25-33, 2014.

著書

- 吉野純:嘔吐,下痢,血便,腹痛の看護のポイント. 小児看護38(3). 横田俊平. 東京, へるす出版, 2015.p.309-311.
- 中村明子:C I プレパレーション. やさしくわかる小児看護技術第2版. 草柳浩子, 岩瀬貴美子編著. 東京, ナツメ社, 2014.p.56-58.
- 中村明子:C II フィジカルアセスメント. やさしくわかる小児看護技術第2版. 草柳浩子, 岩瀬貴美子編著. 東京, ナツメ社, 2014.p.59-72.
- 中村明子:CIV検体採取. やさしくわかる小児看護技術第2版. 草柳浩子, 岩瀬貴美子編著. 東京, ナツメ社, 2014.p.88-104.

地域看護学研究室

講演

学会

- 加藤昌代:カウンセリングワークショップ. 第577回NPO法人日本精神療法学会, 伊香保町, 2014年4月19-20日.

2. 加藤昌代:カウンセリングワークショップ. 第584回NPO法人日本精神療学会, 山ノ内町, 2014年8月30-31日.
 3. 澁川悦子, 藤原千秋, 佐藤睦子, 大塚陽子:子ども虐待予防と保健師活動 潜在事例を顕在化へー格差縮小ー, 日本子ども虐待防止学会 第20回学術集会あいち大会, 名古屋, 2014年9月14日.
 4. 若林チヒロ, 大木幸子, 生島嗣:HIV陽性者の地域生活とエイズ政策評価. 第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木, 2014年11月5-7日.
 5. 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 若林チヒロ, 細川陸也, 矢島嵩, 高久陽介, 板垣貴志, 大木幸子:HIV陽性者の性生活及びセクシュアルヘルス相談経験についての調査研究. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
 6. 細川陸也, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 若林チヒロ, 大木幸子, 矢島嵩, 高久陽介, 板垣貴志:HIV陽性者の子どもを持つことへの思いと医療現場における相談体制の実態. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
 7. 加藤昌代:カウンセリングワークショップ. 第589回NPO法人日本精神療学会, 上田, 2014年11月22-23日.
 8. 大木幸子, 高城智圭, 阿部幸枝, 生島嗣, 岡野江美, 中澤よう子, 野口雅美, 古屋智子, 谷部陽子, 若林チヒロ:全国保健行政機関の精神保健担当者におけるHIV陽性者の薬物相談への自己効力感とその関連要因. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 9. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 阿部桜子, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV陽性者男性における依存性薬物使用の実態とその関連要因. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 10. 阿部桜子, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV陽性者におけるソーシャルサポートネットワークの実態について. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 11. 阿部桜子, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV関連のスティグマが陽性者のメンタルヘルスに与える影響について. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 12. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 阿部桜子, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV陽性男性におけるメンタルヘルスとHIV/AIDSを巡っての孤立状態との関連. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 13. 山内麻江, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 阿部桜子, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子:HIV陽性者の慢性疾患, 自覚症状及び睡眠状況に関する調査研究, 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 14. 細川陸也, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 阿部桜子, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV陽性者の老後に対する不安について. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 15. 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 細川陸也, 阿部桜子, 板垣貴志, 片倉直子, 山内麻江, 吉澤繁行, 高久陽介, 矢島嵩, 若林チヒロ, 大木幸子:HIV陽性者の陽性判明後の性行動及び性の相談に関連した経験に関する調査研究. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 16. 板垣貴志, 鈴木達郎, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 阿部桜子, 細川陸也, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:「Futures Japan HIV陽性者のためのウェブ調査」における回答者属性の特徴の検討. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 17. 細川陸也, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 阿部桜子, 吉澤繁行, 大木幸子, 若林チヒロ, 片倉直子, 山内麻江:HIV陽性者の医療機関への通院状況. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 18. 岩橋恒太, 高野操, 大島岳, 阿部甚兵, 柴田恵, 矢島嵩, 加藤悠二, 佐久間久弘, 大木幸子, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子:首都圏居住のMSMを対象とした, HIV抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしんHIV検査サーチ」の構成とその検討. 第28回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.
 19. 品田朋子, 市川かよ子, 原田千尋, 山本裕美, 吉原恭子, 佐藤睦子:難病患者支援における保健師のスキルの検証ー熟練保健師が遺した物語からー. 第3回日本公衆衛生看護学会, 神戸, 2015年1月11日.
 20. 大木幸子:HIV陽性者のセクシュアルヘルス支援ー患者から受ける性の相談ー, HIV陽性者のセクシュアルヘルス支援のための研修. HIV/エイズ看護学会, 東京, 2015年2月8日.
- 地域の講演会, 研修会
1. 大木幸子:要支援家族へのかかわりー要支援家族へのアプローチー. 東京都看護師 保健師集団研修, 東京, 2014年6月18日.
 2. 大木幸子:横浜市保健師1年目研修(第1回). 横浜, 2014年7月28日.
 3. 大木幸子:要支援家族のアセスメントをととして, 家族の課題・支援を考える. 東京都訪問教育研究協議会・整備訪問看護事業部合同研修, 東京, 2014年8月5日.
 4. 大木幸子:保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第1回, 青森, 2014年8月18日.
 5. 大木幸子:地区組織活動の展開方法. 川崎市新任期看護職フォロー研修, 川崎, 2014年11月25日.
 6. 大木幸子:保健師業務における感染症対策ー地域における保健師活動を踏まえてー(第1回)結核対策. 町田市健康危機管理研修, 町田, 2014年12月8日.
 7. 大木幸子:横浜市保健師1年目研修(第2回). 横浜, 2014年12月12日.
 8. 大木幸子:保健師業務における感染症対策ー地域における保健師活動を踏まえてー(第2回)感染症対策. 町田市健康危機管理研修, 町田, 2014年12月22日.
 9. 大木幸子:保健師の行う地区保健活動について. 所沢市地区活動研修, 所沢, 2015年1月14日.
 10. 大木幸子:保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第2回, 青森, 2015年1月16日.
 11. 大木幸子:セクシュアリティの理解とセクシュアルヘルスへの支援. 平成26年度神奈川県保健師等HIV検査従事者のためのエイズ専門研修, 横浜, 2015年1月19日.
 12. 大木幸子:公衆衛生看護活動の特性. 横浜市若手保健師対象研修, 横浜, 2015年2月28日.
 13. 大木幸子:家族アセスメントの視点と手段. 東京都地域子育て支援研修, 東京, 2015年3月2日.
 14. 大木幸子:保健師が行う家庭訪問の意義. 横浜市西区訪問指導事業研修, 横浜, 2015年3月5日.

15. 大木幸子:保健師活動指針を踏まえた保健師活動の展開～精神保健相談業務～. 町田市保健師研修, 町田, 2015年3月12日.

論文

1. 大木幸子, 高城智圭:保健師活動の原点としての家庭訪問家庭訪問の機能と技術. 保健師ジャーナル70(10):850-856, 2014.
2. 佐伯和子¹, 村嶋幸代², 大木幸子, 尾崎章子³, 蔭山正子⁴, 河野あゆみ⁵, 西崎美和³, 松下光子⁶(¹北海道大, ²大分大, ³東邦大, ⁴東京大, ⁵大阪府立大, ⁶岐阜大):日本地域看護学会委員会報告 地域看護学の定義について. 日本地域看護学会誌17(2):75-84, 2014.
3. 大木幸子:見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第1回) 事例検討会の意義. 保健師ジャーナル71(1):72-76, 2015.
4. 大木幸子:見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第2回) 事例検討会の進め方と検討のための工夫. 保健師ジャーナル71(2):164-170, 2015.
5. 大木幸子:見方を変えると“場”が変わる 事例検討会の進め方(第3回)【事例1】家族史から家族の機能や関係性をアセスメントする. 保健師ジャーナル71(3):256-261, 2015.
6. Yokoyama Y, Hirano K, Sato M, Abe A, Uebayashi M, Kishi E, Kuroda Y, Nakaita I, Fukushima F, : Activities and Health Status of Dispatched Public Health Nurses after the Great East Japan Earthquake. Public Health Nursing 31(6):537-544, 2014.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 大木幸子:HIV及び精神保健の専門機関における支援と連携に関する研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)地域においてHIV陽性者等のメンタルヘルスを支援する研究 分担研究報告書.
2. 草野恵美子, 佐藤睦子, 樺山舞, 新美志帆:乳幼児健康診査における標準的な保健指導に関する研究. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等次世代育成基盤研究事業), 乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連絡による母子保健指導のあり方に関する研究 分担報告書.
3. 乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究班(研究代表者山崎嘉久):標準的な乳幼児期の健康診査と保健指導の手引き～「健やか親子21(第2次)の達成に向けて～. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患等次世代育成基盤研究事業), 乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連絡による母子保健指導のあり方に関する研究.

その他

1. 大木幸子:HIV/エイズとセクシュアリティにつて解説, World of Love ～Let's Talk about HIV/AIDS～, 東京都インターネット番組, 2014年12月13日.

精神看護学教室

講演

1. 吉田信子, 齊藤広子, 玉井わか子, 浅沼奈美:妊娠経過中に強い精神症状を有した妊婦への寄り添う看護～精神神経科病棟における看護実践～. 日本精神保健看護学会第24回学術集会, 横浜, 2014年6月21-22日.
2. 太田真理子, 佐藤美保, 浅沼奈美:精神科外来を受診したうつ病患者の精神症状と性格傾向との関連～職場関連性に焦

点をあてた看護介入の検討～. 日本精神保健看護学会第24回学術集会, 横浜, 2014年6月21-22日.

3. 田野将尊:「プロセスレコードカンファレンスの楽しみ方」. 井之頭病院実習指導者研修会, 三鷹, 2014年7月10日.
4. 浅沼奈美:「福祉事務所等における保健師の効果的な活動・活用事例」. 第2回生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会(厚生労働省社会・援護局保護課), 東京, 2014年10月6日.
5. 原政代, 小田真智子, 浅沼奈美:生活保護受給者の健康支援から保健師の力量形成を考える～健康日本21における健康格差, 社会格差の改善に向けて～. 第3回日本公衆衛生看護学会学術集会, 神戸, 2015年1月10-11日.
6. 浅沼奈美:「援助について考える」. 東京都精神保健福祉研修(後期)地域援助技術研修・中級, 東京, 2015年1月23日.

その他

1. 浅沼奈美:兵庫県洲本市での5人殺人事件に関してコメント, 毎日新聞(関西版), 2015年3月16日.

医療科学 I 研究室

講演

1. Takagi T, Takashino S, Yoshida M, Yamada C, Kigasawa H, Iwadata S, Sato Y: An autopsy case of a child who died from tension pneumothorax due to the stomach penetrating into the thorax ; Is the hole of the diaphragm congenital or acquired? . 9th ISALM (International Symposium on Advances in Legal Medicine), Fukuoka, 2014年6月16-20日.
2. Yoshida M, Takashino S, Kigasawa H, Yamada C, Iwadata S, Takagi T, et al: Cadaver restoration using silicone-based artificial skin for special effects makeup. 9th ISALM (International Symposium on Advances in Legal Medicine), Fukuoka, 2014年6月16-20日.
3. 都築民幸, 岩原香織, 高篠智, 吉田昌記, 山田千歩, 氣賀澤秀明, 上野麻夫, (岩橋桜子)ほか: 歯科検査のための遺体を傷つけない開口法と開口器の開発. 第98次日本法医学会学術全国集会, 福岡, 2014年6月16-20日.

その他

1. 岩橋桜子:第15回アジアクラブ女子選手権大会 引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, タイ, 2014年4月17-25日.
2. 岩橋桜子:第17回アジア競技大会(2014/仁川) 引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, 韓国, 2014年9月20日-10月2日.
3. 岩橋桜子:多摩・島しょ地域監察医務検案業務に係る永年従事医師に対する福祉保健局長感謝状 授与2015年3月31日.

● 看護学科・看護養護教育学専攻 ●

母子看護学研究室

講演

1. 楠田美奈, 岩見文博, 石野晶子, 加藤英世, 大屋千鶴, 片桐朝美, 太田ひろみ, 大嶺智子, 照屋浩司:幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
2. 高橋真理, 増田美恵子, 青柳優子, 高島えり子, 植竹貴子, 大田康江, 鈴木紀子, 藤本薫, 日置智華子, 湯本敦子, 佐々木裕子: 少子・晩婚化社会に向けたプレコンセプションケアへの看

護系大学の取り組み. 第11回 医療看護研究会, 千葉, 2015年3月6日.

3. Sasaki Y: Early Postpartum Childcare Stress Evident on IT Q&A Community Sites. The 6th World Congress on Women's Mental Health, Japan Tokyo, March 23rd-25th, 2015.

論文

1. 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 鈴木朋子^(¹杏林大・保・看護学科, 助産学教室): ピアサポーターとつくる多胎育児準備クラス. 助産婦雑誌 68(4):306-309, 2014.
2. 太田ひろみ: 都市部での子育てをめぐる課題と大学が行う子育て支援活動. 杏林医学会雑誌45(3):101-104, 2014.
3. 太田ひろみ, 朝野聡¹, 井手拓郎², 亀崎路子³, 佐々木裕子, 楠田美奈⁴, 太田真理子⁵, 大屋千鶴^(¹杏林大・保・健康福祉学科, ²杏林大・外・観光交流文化学科, ³杏林大・保・看護学, ⁴杏林大・保・看護学, ⁵杏林大・保・看護学, ⁶杏林大・保・看護学): 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究. 平成26年度杏林大学杏林CCRC研究所紀要1:185-187, 2014.
4. 佐々木裕子, 高橋真理^(¹順天堂大): インターネットのQ&Aコミュニティサイトにみる0~4ヶ月児の母親の育児における寝かしつけの悩み—テキストマイニングによる分析—. 順天堂医療看護研究 15:28-35, 2015.

基礎看護学研究室

講演

1. 楠田美奈, 岩見文博, 石野晶子, 加藤英世, 大屋千鶴, 片桐朝美, 太田ひろみ, 大嶺智子, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
2. 岡本博照, 照屋浩司, 大嶺智子, 楠田美奈, 深澤進次, 岩見文博, 松井知子, 角田透: 中高年住民の脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)に影響を及ぼす要因について. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
3. 石井博之, 楠田美奈, 星谷綾香, 原口裕希: 健康寿命延伸を目的とした, スポーツ機会の提供プログラムの紹介. 第3回南多摩福祉機器展, 八王子, 2014年11月15-16日.

その他

1. 上谷いつ子: 交流セッション I 「医療現場における専門職連携実践(IPW)・教育(IPE)を推進するために〜ともに学び・学びあうチームづくり〜」座長, 第45回日本看護学会「急性期看護」学術集会, 横浜, 2014年10月23日.
2. 上谷いつ子: 第45回日本看護学会「急性期看護」学会準備委員長, 横浜, 2014年10月23-24日.
3. 上谷いつ子: 神奈川県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程, 人材育成論「人材育成の方法」講師, 2014年7月1, 7日.
4. 上谷いつ子: 新潟県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程, 看護サービス提供論「看護サービスの概要」講師, 2014年9月15-16日.
5. 上谷いつ子: 神奈川県看護協会認定看護管理者セカンドレベル教育課程, 人的資源活用論「人的資源活用のためのマネジメント」講師, 2014年11月14, 21日.

学校看護学研究室

講演

1. 亀崎路子: 4ボックス法を使った倫理教育の授業の試案. 日本養護教諭養成大学協議会2014年度教育セミナー, 東京, 2014年9月5日.
2. 亀崎路子: 養護教諭とスクールカウンセラーの連携に関する文献検討—年代順による特徴—. 第11回日本学校健康相談学会学術集会, 松戸, 2015年3月22日.
3. 亀崎路子, 田村千恵子, 富田瑞穂: 第11回学術集会テーマ企画「実践研究への導入—困りどころから見えてくるもの—. 第11回日本学校健康相談学会学術集会, 松戸, 2015年3月22日.

論文

1. 亀崎路子: 養護教諭の地域ネットワークづくりに変化をもたらした研究者の働き—アクションリサーチを用いた研究者による実践者のための促進的アプローチ—. 学校健康相談研究 11(1):39-53, 2014.
2. 亀崎路子, 大谷尚子^(¹養護実践研究センター): 「実践」を「論文」につなげるための学会誌編集の取り組み—養護系及び周辺領域学会における実情—. 学校健康相談研究 11(1):8-19, 2014.

その他

1. 斉藤ふくみ, 河野千枝, 上原美子, 亀崎路子, 香野三枝子, 森田光子, 笹原和子: 子どもの理解と新たな対応の展開を求めて—ロールプレイングを含む事例検討—第12回ワークショップ報告. 学校健康相談研究, 11(1):109-118, 2014.
2. 亀崎路子(養護教諭の学校危機管理を学ぶ会): 【養護教諭なんでも相談室】養護教諭と他の職員との連携について. 心とからだの健康, 18(10):66-67, 2014年10月1日発行.
3. 亀崎路子: 第14回【教職員のメンタルヘルス】—一人職の孤立〜保健室から見えた姿(2). 教育家庭新聞, 2014年10月20日号.
4. 豊島素子, 手塚美恵, 奥田真里子, 大川静, 亀崎路子(養護教諭の学校危機管理を学ぶ会): 【養護教諭なんでも相談室】救急処置時の校内連絡体制について. 心とからだの健康, 19(3):66-67, 2015年3月1日発行.
5. 太田ひろみ, 朝野聡, 井手拓郎, 亀崎路子, 佐々木裕子, 楠田美奈, 太田真理子, 大屋千鶴: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究—アクションリサーチを通じた実践研究—活動報告. 平成26年度杏林大学杏林CCRC研究所紀要, 185-187, 2015年3月20日発行.

精神保健看護学研究室

講演

1. 太田真理子, 佐藤美保, 浅沼奈美: 精神科外来を受診したうつ病患者の精神症状と性格傾向との関連—職場関連性に焦点をあてた看護介入の検討—. 第24回日本精神保健看護学会学術集会, 横浜, 2014年6月21-22日.

在宅看護学研究室

講演

1. 大金美和, 塩田ひとみ, 小山美紀, 柴山志穂美, 久地井寿哉, 岩野友里, 柿沼章子, 大平勝美, 池田和子, 湯永博之, 岡慎一: HIV感染血友病患者の健康関連QOLの実態調査. 第28

回日本エイズ学会学術集会, 大阪, 2014年12月3-5日.

2. Ogane M, Kuchii T, Kanaya F, Shibayama S, Kakinuma A, Ohira K, Tanaka J, Shimada M, Ikeda K Oka S: Barrier Assessment in Establishing Comprehensive Client-Level Coordination for Treatment and Medical Welfare of People Living with Hemophilia and HIV/AIDS in Japan. WFH 2014 World Congress, Australia, May 11th-15th, 2014.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 大金美和, 鈴木ひとみ, 小山美紀, 谷口紅, 柴山志穂美, 今村知明, 秋山正子, 久地井寿哉, 岩野友里, 柿沼章子, 大平勝美, 中根秀之, 島田恵, 池田和子, 湯永博之, 岡慎一: コーディネーションと課題解決の提言. 平成26年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業. 血液凝固因子製剤によるHIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究報告書.
2. 柴山志穂美, 中澤伸: 第6章要介護者に対する切れ目のないケアマネジメントを実現するためのケアマネジャーが使用するツールの開発-医療機関に対する情報提供書およびセルフケアマネジメント計画様式の提案-. 平成26年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業「ケアマネジメントの質の評価及びケアマネジメントへの高齢者の積極的な参画に関する調査研究事業報告書」東京. 株式会社日本能率協会総合研究所. 2015. 42-50.

成人老年看護学研究室

講演

1. 角田ますみ: 介護系福祉大学における介護倫理に関する教育内容の分析-シラバスの記述内容分析を通して-. 第26回日本生命倫理学会年次大会, 浜松, 2014年10月25-26日.
2. 角田ますみ: 日本ではAdvance Care Planning: ACPとして何がなされているのか. 第26回日本生命倫理学会年次大会, 浜松, 2014年10月25-26日.
3. 角田ますみ: 看護の規範理論におけるAdvance Care Planning(ACP)の可能性-臨床倫理学の立場から-. 第34回日本看護科学学会学術集会, 名古屋, 2014年11月29-30日.
4. 兎澤恵子: 「私の案内書作り」講座3回連続講座. 三鷹ネットワーク大学における三鷹市民講座, 三鷹, 2014年12月2,9,16日.

論文

1. 角田ますみ: 高齢者看護学におけるフィジカルアセスメント. 看護実践の科学39(4):54-58,2014.

著書

1. 角田ますみ: がん看護における倫理的問題. 教育・事例検討・研究に役立つ看護倫理実践事例46. 清水哲郎監修. 東京, 日総研, 2014. p.351-360.
2. 金沢善智, 角田ますみ監修: クエスチョンバンク・ケアマネ試験問題解説2015. 東京, メディックメディア, 2014.
3. 角田ますみ, 宮崎伸一監修: クエスチョンバンク・看護師国家試験問題解説2015. 東京, メディックメディア, 2014.

病態学研究室

講演

1. 大浦紀彦, 佐藤卓士, 三上智子, 岩科祐己, 桐渕英人, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: ハイドロサージェリーによるwound bed preparation. 第57回日本形成外科学会総会・学術集会, 長崎,

2014年4月9日.

2. 尾崎峰, 白石知大, 井原玲, 大浦紀彦, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: リストカット痕に対する組織拡張器を用いた治療の検討. 第57回日本形成外科学会総会・学術集会, 長崎, 2014年4月9日.
3. 大浦紀彦: 第6のデブリードマン ハイドロサージェリーの可能性. 第57回日本形成外科学会総会・学術集会, 長崎, 2014年4月10日.
4. 大浦紀彦: 軟部組織・創傷からCLIを考える Real Angiosome. 第3回PADカンファレンス 重症下肢虚血の病態と治療, 東京, 2014年4月15日.
5. 大浦紀彦: CLIを救え! CLI治療を困難にしているものは何か?. 第6回日本下肢救済足病学会北海道地方会, 札幌, 2014年4月26日.
6. 大浦紀彦: 潰瘍治療最前線: 医療連携による治療効率最大化に向けて 重症下肢虚血R6に対する血管外科と形成外科のコラボレーション. 第42回日本血管外科学術集会, 青森, 2014年5月22日.
7. 大浦紀彦: 下肢慢性創傷の病態と治療 CLI DFU Leg ulcer. シルバー&ヘルスケア戦略特別セミナー慢性創傷管理の最前線, 東京, 2014年6月7日.
8. 大浦紀彦: 糖尿病性足病変の治療戦略 足病変の何に気をつけるのか Ikebukuro Heart Forum 〜こころと心臓〜. 東京, 2014年6月7日.
9. 大浦紀彦: III.創傷管理に必要な基本的知識【下肢創傷を形成外科的視点で管理する】. 日本下肢救済足病学会認定師セミナーVer. 2, 札幌, 2014年6月27日.
10. 大浦紀彦: EVTの臨床評価指標としての創傷評価と治療. 第6回日本下肢救済足病学会, 札幌, 2014年6月28日.
11. 大浦紀彦, 井原玲, 若林桂介, 多田朋子, 森重侑樹: 創傷管理と被覆材 創処置. 第6回日本下肢救済足病学会, 札幌, 2014年6月29日.
12. 大浦紀彦: CLIを救え! CLI治療を困難にしているものは何か?. 第71回兵庫県血管外科研究会, 神戸, 2014年7月5日.
13. 大浦紀彦: プロフェッショナル 育てる. 慢性創傷と戦うスーパー看護師. 第11回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会, 東京, 2014年7月11日.
14. 大浦紀彦: 重症下肢虚血 Rutherford6に対する治療 血管柄付き自家遊離組織移植術の有効性とリスクの検討. 第6回日本創傷外科学会総会・学術集会, 高松, 2014年7月24日.
15. 井原玲, 大浦紀彦, 清家志円, 若林圭介, 多田朋子, 森重侑樹, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: 重傷下肢虚血に対する, 創縁の牽引と陰圧閉鎖療法併用についての検討. 第6回日本創傷外科学会総会・学術集会, 高松, 2014年7月24-25日.
16. 大浦紀彦: TIME理論に基づくNPWT. 2014 NPWT Expert Technical Forum. 東京, 2014年8月9日.
17. 大浦紀彦: 心臓・血管手術後創傷・感染に対する治療戦略 - 心臓血管外科と形成外科のコラボレーション-. 東海心臓血管外科 VAC セミナー2014, 名古屋, 2014年8月23日.
18. 大浦紀彦: 「ずらして褥瘡を防ぐ」新しい褥瘡予防戦略. 第16回日本褥瘡学会学術総会, 名古屋, 2014年8月30日.
19. 大浦紀彦: 下肢切断の転帰を考える 糖尿病性足病変における大腿切断術, 下腿切断術の適応と工夫. 鹿児島フットケアセミナー2014, 鹿児島, 2014年9月14日.
20. 大浦紀彦: 糖尿病性足病変の患者に対するフットケアと靴装具の重要性. 第28回日本靴医学会学術集会, 福岡, 2014年9月28日.

21. 大浦紀彦:最新の褥瘡治療. がんセンター褥瘡対策委員会主催褥瘡講演会, 柏, 2014年10月17日.
22. 大浦紀彦:糖尿病性足病変に対する治療戦略 -血流の有無とチーム医療について-. 第26回北海道MMC研究会「糖尿病と血管障害」, 札幌, 2014年11月15日.
23. 大浦紀彦:軟部組織感染症に対する治療戦略. おいでまっし感染対策研究会 創傷処置と感染対策セミナー, 金沢, 2014年11月21日.
24. Ohura N: Japanese status of pressure ulcer 2014. The Asia Pacific Pressure Ulcer Prevention advisory board, Beijing, November 29th, 2014.
25. 井原玲, 大浦紀彦, 芝崎由佳, 景山大輔, 大島直也:重症下肢虚血に対し血行再建を繰り返したが, 下肢壊死の進行が止められず, 大切断に至った1例. 第3回多摩CLI研究会, 東京, 2014年11月27日.
26. 大浦紀彦:糖尿病性足病変の治療「フットケアの潮流 -チーム医療-」形成外科医の立場から. 第20回糖尿病フットケア研究会, 東京, 2014年12月13日.
27. 大浦紀彦:糖尿病性足病変の治療戦略 感染と虚血への対応. 第7回東海創傷治療フォーラム, 名古屋, 2015年1月30日.
28. 大浦紀彦:total nutritional therapy for wound care session 4. 第13回日本フットケア学会, 東京, 2015年2月14日.
29. 大浦紀彦:total nutritional therapy for wound care session 5. 第13回日本フットケア学会, 東京, 2015年2月14日.
30. 大浦紀彦:Education for young physician session-5「BTK, CLIへのアプローチ」創傷治療の基本. JET2015, 大阪, 2015年2月21日.
31. 大浦紀彦:透析患者の下肢治療戦略 -連携の光と闇-. 第3回CLINCH: Critical Limb Ischemia Network in aichi, 名古屋, 2015年3月21日.
32. 大浦紀彦:高齢化社会における創傷治療. 第33回日本臨床皮膚外科学会学術集会, 千葉, 2015年3月27日.

論文

1. 大浦紀彦, 清家志円, 井原玲, 森重侑樹, 多久嶋亮彦, 波利井清紀:糖尿病性足病変に対する創傷治療と靴装具の重要性. 靴の医学 28:186-191, 2014.
2. 大浦紀彦, 井原玲:褥瘡の診断と治癒過程 エビデンスに基づく褥瘡ケアUPDATE. 臨床栄養 124(6):688-692, 2014.
3. 木村勇亮, 大浦紀彦, 勾坂正信, 多久嶋亮彦, 波利井清紀:アルベカシン硫酸塩の血中・組織浸出液濃度の比較および組織移行性の検討. 日本形成外科学会誌 34(8):573-579, 2014.
4. 鈴木理央¹, 大浦紀彦¹(横須賀市立市民病院):低栄養と創傷治癒. WOC Nursing 2(7):12-20, 2014.
5. 木下幹雄¹, 大浦紀彦¹(東京西徳洲会病院):治す 重症虚血肢に対する集学的治療. Heart View 18(6):648-654, 2014.
6. 大浦紀彦, 清家志円, 井原玲, 岩科裕己, 桐渕英人, 北幸紘, 多久嶋亮彦, 波利井清紀:踵部褥瘡の局所治療. WOC Nursing 2(5):22-28, 2014.
7. 木村勇亮, 大浦紀彦, 梶谷彩奈, 多田朋子, 菅浩隆, 多久嶋亮彦, 波利井清紀:重症下肢虚血に対する創傷治療. Circulation 4(2):67-72, 2014.
8. 木村勇亮, 大浦紀彦, 梶谷彩奈, 多田朋子, 菅浩隆, 多久嶋亮彦, 波利井清紀:足潰瘍, 壊疽の局所療法. 総合リハビリテーション42(4):305-312, 2014.
9. 大浦紀彦:手術室. WOC Nursing 2(4):12-16, 2014.
10. Kagaya Y, Ohura N, Suga H, Eto H, Takushima A, Harii K: 'Real

angiosome' assessment from peripheral tissue perfusion using tissue oxygen saturation foot-mapping in patients with critical limb ischemia. Eur J Vasc Endovasc Surg 47:433-441, 2014.

11. 安井佑¹, 木下幹雄, 栗田恵里奈, 佐藤大介, 大浦紀彦¹(東京西徳洲会病院 形成外科):全身性炎症反応症候群を呈した重症感染性足壊疽に対し二期的切断術が有用であった2例. 形成外科57(3):303-309, 2014.
12. 菅浩隆, 大浦紀彦:形成外科の基本手技 褥瘡. 手術68(3):321-324, 2014.
13. Kagaya Y, Ohura N, Suga H, Eto H, Takushima A, Harii K: 'Real angiosome' assessment from peripheral tissue perfusion using tissue oxygen saturation foot-mapping in patients with critical limb ischemia. Eur J Vasc Endovasc Surg. Apr. 47(4):433-41, 2014.
14. Kagaya Y, Ohura N, Kurita M, Takushima A, Harii K: Examination of tissue oxygen saturation (StO2) changes associated with vascular pedicle occlusion in a rat Island flap model using near-Infrared spectroscopy. Microsurgery. 2015.(Published online).
15. Okamoto S, Iida O, Nakamura M, Yamauchi Y, Fukunaga M, Yokoi Y, Soga Y, Zen K, Hirano K, Suematsu N, Suzuki K, Shintani Y, Miyashita Y, Urasawa K, Kitano I, Yamaoka T, Ohura N, Hamasaki T, Uematsu M, Nanto S: Postprocedural Skin Perfusion Pressure Correlates With Clinical Outcomes 1 Year After Endovascular Therapy for Patients With Critical Limb Ischemia on behalf of the OLIVE Investigators. Angiology. 2015. (Published online).

著書

1. 水原章浩, 大浦紀彦:症例でみるよくわかる創傷の陰圧閉鎖療法. 東京, 医学と看護社, 2015.
2. 大浦紀彦:皮膚・軟部組織感染症1)皮膚感染症2)蜂窩織炎, 壊死性軟部組織感染症. 形成外科治療手技全書 III創傷外科. 東京, 克誠堂, 2015.

その他

1. 大浦紀彦:研究会主催 第10回東京CLI検討会. 新宿, 2014年4月17日.
2. 大浦紀彦:研究会主催 第11回東京CLI検討会. 新宿, 2014年9月11日.
3. 大浦紀彦:研究会主催 第2回Tama Limb Salvage and wound care Nursing Network. 吉祥寺, 2014年5月10日.
4. 大浦紀彦:研究会主催 第2回「透析患者の足を救う」多摩地区CLIカンファレンス. 杏林大学大学院講堂, 2014年8月2日.
5. 大浦紀彦:研究会主催 第1回TAMA Outpatients and Home-care Wound care meeting. 吉祥寺, 2015年2月12日.

● 臨床工学科 ●

生命支援工学研究室

講演

1. Onuki M, Fukunaga K, Hoshihara T, Saito I, Isoyama T, Abe Y, Fukui Y: Reduction of radial shaft deflection by symmetric arrangement of flow channels in cascade blood pump. 22nd Congress of the International Society for Rotary Blood Pumps, USA, September 25th-27th, 2014.
2. Hoshihara T, Fukunaga K, Onuki M, Nakajima A, Shimazu H,

Funakubo A, Fukui Y: Design and experimental testing of diffuserless catheter pump for right ventricular support. 22nd Congress of the International Society for Rotary Blood Pumps, USA, September 25th-27th, 2014.

3. 大貫雅也, 福長一義, 星原卓弥, 斎藤逸郎, 磯山隆, 阿部裕輔, 福井康裕: カスケードポンプの流路の軸対称配置がもたらす偏心力の軽減. 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2014, 東京, 2014年11月22日.
4. 星原卓弥, 福長一義, 大貫雅也, 中島章夫, 嶋津秀昭, 福井康裕: 右心補助用ディフューザレスカテーテルポンプの開発. 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2014, 東京, 2014年11月22日.

論文

1. Sawa Y¹, Tatsumi E², Tsukiya T², Matsuda K³, Fukunaga K, Kishida A⁴, Masuzawa T⁵, Matsumiya G⁶, Myoui A⁷, Nishimura M⁸, Nishimura T⁹, Nishinaka T¹⁰, Okamoto E¹¹, Tokunaga S¹², Tomo T¹³, Yagi Y¹⁴, Yamaoka T² (¹Osaka University Graduate School, ²National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, ³University of Yamanashi Hospital, ⁴Tokyo Medical and Dental University, ⁵Ibaraki University, ⁶Chiba University Graduate School, ⁷Osaka University Hospital, ⁸Tottori University, ⁹The University of Tokyo, ¹⁰Tokyo Woman's Medical University, ¹¹Tokai University, ¹²Kanagawa Cardiovascular and Respiratory Center, ¹³Oita University, ¹⁴Kyoto Prefectural University of Medicine): Journal of Artificial Organs 2013: the year in review. J Artif Organs 17: 1-8, 2014.
2. 福長一義: コメディカルと人工心臓要素技術. 人工臓器43: 56-60, 2014.

著書

1. 福長一義: 臨床工学講座 医用電気工学1 第2版. 戸畑裕志, 中島章夫, 福長一義編. 東京, 医歯薬出版, 2015.
2. 福長一義: 臨床工学講座 医用電気工学2 第2版. 福長一義, 中島章夫, 堀純也編. 東京, 医歯薬出版, 2015.
3. 福長一義: 臨床工学講座 医用電子工学 第2版. 中島章夫, 福長一義, 佐藤幸編. 東京, 医歯薬出版, 2015.
4. 福長一義: 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. 福長一義編. 東京, メジカルビュー社, 2015.

先端臨床工学研究室

講演

1. 中島章夫, 鈴木哲治, 水島岩徳, 萬知子: 手術環境下での電気メスからの放射電磁波電界強度の定量測定～可視化システムの構築～. 第89回日本医療機器学会大会, 新潟, 2014年6月13日.
2. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第36回ME技術講習会, 札幌, 2014年6月29日.
3. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第36回ME技術講習会, 東京, 2014年7月12日.
4. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第36回ME技術講習会, 東京, 2014年7月27日.
5. 中島章夫: 治療機器の原理・取扱い上の注意と保守点検. 第7回MDIC認定セミナー, 東京, 2014年10月25日.

6. 中島章夫: コンピュータ・情報セキュリティの基礎. 第7回MDIC認定セミナー, 東京, 2014年10月26日.
7. 中島章夫: 医用レーザーの基礎. 日本レーザー医学会 安全教育セミナー, 東京, 2014年6月29日.
8. 中島章夫, 佐藤俊一: 医用レーザー機器の安全. 第30回レーザー安全スクール, 東京, 2014年11月19日.
9. 中島章夫, 萬知子: 手術室環境下における電気メス放射電磁波の影響に関する検討2. 第43回日本医療福祉設備学会, 東京, 2014年11月13日.
10. 中島章夫, 水島岩徳, 萬知子: 手術室内電気メス放射電磁波の解析システムの開発～電界強度の可視化システムの構築～. 第43回杏林医学会総会, 三鷹, 2014年11月17日.

著書

1. 中島章夫: 臨床工学講座 医用電気工学1. 中島章夫編・著. 東京, 医歯薬出版(株), 2014. p.1-66, p.139-152.
2. 中島章夫: 臨床工学講座 医用電子工学. 中島章夫編・著. 東京, 医歯薬出版(株), 2014.
3. 中島章夫: VI. 関係法規. 臨床工学技士標準テキスト 第2版増補. 東京, 医歯薬出版(株), 2014. p.649-695.
4. 中島章夫: 第4章 レーザ手術・超音波手術装置. 第1種ME技術実力検定試験テキスト. (一社)日本生体医工学会ME技術教育委員会・監修, 東京, 第1種ME技術実力検定試験テキスト編集委員会, 2014. p.649-695.
5. 中島章夫: 臨床工学技士 ポケット・レビュー帳. 鈴木哲治著. 東京, メジカルビュー(株), 2015. p.228-238.
6. 中島章夫: MEの基礎, レーザ治療装置. MEの基礎知識と安全管理改訂第6版. (一社)日本生体医工学会ME技術教育委員会・監修. 東京, 南江堂(株), 2014. p.16-19, p.422-435.
7. 中島章夫: 臨床工学講座 医用治療機器学. 篠原一彦著. 東京, 医歯薬出版(株), 2014. p.89-118, p.157-163.

報告書

1. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 中野壮階, 櫛引俊宏: 医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究 1. 輸液ポンプの保守点検に関する教育Webサイトの解説 4. 輸液ポンプの保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究, 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業) 平成26年度総括・分担研究報告書.

生理・生体・情報工学研究室

講演

1. 嶋津秀昭: 痛みの基礎をふまえた定量評価法. R&D支援センター セミナー, 東京, 2014年5月23日.
2. 木暮英輝, 渡辺篤志, 瀬野晋一郎, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: Development of a monitoring system of the intrapulmonary regional ventilation dynamics using multi channel thorax transfer admittance measurement. 第53回日本生体医工学会, 仙台, 2014年6月24日.
3. 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: Development of a perception threshold assessment system using non-contact air pressure stimulation. 第53回日本生体医工学会, 仙台, 2014年6月26日.
4. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: フリーラジカルに対する唐辛子辛味成分カプサイシンの捕捉活性に関する速度論的研究. 第12回日本機能性食品医用学会, 京都, 2014年12月13日.
5. 嶋津秀昭: 生体循環モデルを用いた血行動態測定. iMEP教

育講演, 草津, 2015年2月8日.

6. 嶋津秀昭: 痛みの基礎をふまえた定量評価法. R&D支援センター セミナー, 東京, 2015年3月16日.

論文

1. Watanabe A, Seno S, Kogure E, Seki K¹, Sakamoto T², Okada Y³, Shimazu H¹(Dept. of Radiation Safety Management, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ., ²Dept. of Medical Radiological Technology, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ., ³Dept. of Analytical Chemistry, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ.): Kinetic Study of the Radical Scavenging of Capsaicin in Homogeneous Solutions and Aqueous Triton X-100 Micellar Suspensions. Journal of Food Science. 80(3):C577-C583, 2015.

著書

1. 嶋津秀昭: 第5節 痛みの定量評価法と痛み評価. 官能評価活用ノウハウ・感覚の定量化・数値化手法. 技術情報協会編. 東京, 技術情報協会, 2014.
2. 瀬野晋一郎: 第6章 生体物性材料工学. 臨床工学技士 ポケット・レビュー帳. 福長一義編. 東京, メジカルビュー社, 2015. p.85-97.

血液浄化療法学研究室

講演

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 透析液への還元薬剤(N-acetyl cysteine: NAC)の0.03%添加により血漿アルブミンの還元率は著しく改善する. 第59回日本透析医学会, 神戸, 2014年6月13日.
2. 須田健二, 五十嵐友, 鈴木祥史, 副島昭典: 電気的インピーダンスを用いた抜針検知システムに関する基礎的研究. 第59回日本透析医学会, 神戸, 2014年6月15日.
3. 五十嵐友, 須田健二, 鈴木祥史, 副島昭典: 血液透析における実血流量測定法に関する実験的研究. 第59回日本透析医学会, 神戸, 2014年6月13日.
4. 山内大輔, 酒井恭平, 須田健二, 副島昭典: 血液透析における抜針検知システムの開発(第二報). 第67回三多摩腎疾患治療医学会, 三鷹, 2014年6月22日.
5. 鈴木祥史, 須田健二, 二宮亜具里, 寺田知新, 高橋哲平, 恵良聖一, 副島昭典: 血漿アルブミンの還元化率を改善するN-acetyl cysteine(NAC)の保存・投与方法およびNACの還元力に影響を及ぼす因子の検討. 第26回腎とフリーラジカル研究会, 名古屋, 2014年9月20日.
6. 山内大輔, 酒井恭平, 須田健二, 副島昭典: 血液透析における抜針検知システムの開発(第三報). 第68回三多摩腎疾患治療医学会, 三鷹, 2014年11月9日.
7. 副島昭典: 血液透析の原理と技術の進歩. 第6回杏林大学大学院保健学研究科講演会, 三鷹, 2015年1月22日.

論文

1. 副島昭典: 医師が期待する大学院教育-血液浄化分野-. Clinical Engineering 25: 638-640, 2014.
2. Suzuki Y, Suda K, Soejima A: Close relationship between redox state of human serum albumin and serum cysteine levels in non-diabetic CKD patients with various degrees of renal function. Clin Nephrol 82: 320-325, 2014.

著書

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 赤血球寿命に影響を与える血漿の還元能とその改善に

関する実験的検討. 腎とエリスロポエチン研究会proceedings. 東京, ライフサイエンス出版, 2014.p.6-9.

2. 副島昭典: 第108回医師国家試験問題解説書. 東京, 医学評論社, 2014.
3. 副島昭典: 臨床推論がわかる. 安田幸雄編, 東京, 医学評論社, 2014.
4. 副島昭典: こあかり2015雪の章 リコ 最新問題集. 東京, 医学評論社, 2014.
5. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 血漿アルブミンの還元化率を改善する還元薬剤の透析液への添加とその有効濃度. 腎とフリーラジカル第12集. 富野康日己, 他編. 東京, 東京医学社, 2015.p.66-70.
6. 副島昭典: 臨床工学技士ポケットレビュー帳. 福長一義編, 東京, メジカルビュー社, 2015.
7. 副島昭典: 基礎から始める腎臓内科学. 東京, 東京医学社, 2015.

報告書

1. 石田陽一, 副島昭典, 川端雅彦, 供田文宏, 金木潤: カドミウムによる近位尿管機能異常に関する研究. 平成26年度イタイ病および慢性カドミウム中毒に関する総合的研究. 平成26年度環境省委託業務報告書, p 169-184, 2015.

循環器病態生理学研究室

講演

1. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美, 副島京子: 日常臨床における循環器Q & A. 第29回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2014年5月19日.
2. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2014年9月25日.
3. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美: 日常臨床における循環器Q & A. 第30回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2014年10月20日.
4. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2014年11月28日.
5. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2015年1月23日.
6. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2015年2月27日.

論文

1. 中村淳史: 電解気泡法による人工心肺回路内における微小気泡の基本的変動. 体外循環技術 41:441-450, 2014.
2. 中村淳史: 人工心肺中におけるリアルタイム血液粘度測定法の開発と有用性. 体外循環技術 41:123-130, 2014.

著書

1. 四倉正之: 内科学概論, 外科学概論, 呼吸器系, 循環器系, 神経・筋肉系. 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. 福長一義編. 東京, メジカルビュー社, 2015. p.290-306, p.310-312.

報告書

1. 中村淳史, 中島章夫, 須田健二, 新秀直: 人工心肺装置の保守点検ガイドライン策定に向けた調査研究結果, 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究(H26-医療-指定-032), 厚生労働科学研究補助金(地域医療基盤開発推進事業) 平成26年度 総括・分担研究報告書, 70-93. 2014.

生理機能検査学研究室

講演

1. 森秀明, 西川かおり, 本田善久, 塚田幾太郎, 尾股佑, 關里和, 峯佳毅, 小樽二世, 高橋信一, 岸野智則, 齋田真由美: 消化器領域における3次元超音波検査 -Fly Thru- の検討. 日本超音波医学会第87回学術集会, 東京, 2014年5月9-11日.
2. 三輪隆, 佐野晃士, 佐々木順子, 原島敬一郎, 秋本孝之, 久米雅彦, 志熊淳平, 伊藤祿郎, 添田仁, 金澤真雄, 林潤一, 小田原雅人: インスリンからエキセナチド1日2回注への切り替え. 24ヵ月経過例の検討. 第57回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪, 2014年5月22-24日.
3. 神谷具巳, 渡辺圭一, 原島敬一郎, 林潤一, 石田信彦: 継続的中強度運動が血管Arterial Stiffnessに及ぼす影響. 第39回日本運動療法学会, 千葉, 2014年6月21日.
4. 浦田毅, 岸野智則, 大西宏明, 山本明日香, 嶋森直子, 飯田綾子, 渡辺敬子, 森秀明, 楊國昌, 渡邊卓: 腎臓に浸潤したパーキットリンパ腫の一例: 転移性腎腫瘍との鑑別点について. 日本超音波医学会 関東甲信越地方会 第26回学術集会, 東京, 2014年10月18-19日.
5. 嶋森直子, 岸野智則, 西川かおり, 板谷直, 浦田毅, 下山田博明, 森秀明, 奴田原紀久雄, 大西宏明, 渡邊卓: 乳頭状腎細胞癌の一例. 日本超音波医学会 関東甲信越地方会 第26回学術集会, 東京, 2014年10月18-19日.
6. 宮脇晴子, 岸野智則, 森秀明, 福岡利仁, 下山田博明, 浦田毅, 嶋森直子, 飯田綾子, 大西宏明, 渡邊卓: 腎辺縁にhypoechoic cortical rimを認めた一例. 日本超音波医学会 関東甲信越地方会 第26回学術集会, 東京, 2014年10月18-19日.
7. 奥山美樹, 原島敬一郎, 鬼頭桃子, 津留衿奈, 三谷博子, 司茂幸英, 嶋津秀昭, 岸野智則: 新たなソフトウェアで解析したarterial stiffness index(ASI)に関する検討. 第1回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2014年11月15日.
8. 佐藤秀昭, 原島敬一郎: 上下肢のASIと動脈硬化の危険因子と関連について~新しいASIの有用性の検討~. 第1回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2014年11月15日.
9. 大塚弘毅, 大西宏明, 小倉航, 松島早月, 岸野智則, 藤原正親, 古瀬純司, 渡邊卓: 転移性直腸癌症例において認められた新規RET遺伝子変異. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.
10. 三谷博子, 石山陽事, 原島敬一郎, 岸野智則: 意識水準低下時の眠気改善を目的とした冷気刺激の可能性について: 神経生理学的パラメータを用いた検討. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.
11. 大西宏明, 滝田順, 松島早月, 大塚弘毅, 岸野智則, 細井健一郎, 大倉康夫, 小川誠司, 渡邊卓: 遺伝性骨髄増殖性腫瘍の家族例における網羅的遺伝子解析. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.
12. 原島敬一郎, 三谷博子, 司茂幸英, 岸野智則: Arterial pressure volume index の複数回測定下における安定性の検討: 推奨測定法の確立に向けて. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.
13. 嶋森直子, 岸野智則, 大西宏明, 大塚弘毅, 一瀬由香里, 大倉康男, 平野浩一, 高城靖志, 渡邊卓: 耳下腺深葉脂肪腫の一例 -超音波画像所見の考察-. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.
14. 須藤恵美, 岸野智則, 大西宏明, 大塚弘毅, 大坂真以子, 藤

原正親, 板谷直, 西川かおり, 森秀明, 奴田原紀久雄, 高城靖志, 渡邊卓: 褐色細胞腫との鑑別が困難であった副腎癌の一例 -超音波画像所見の考察-. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.

15. 大坂真以子, 岸野智則, 大西宏明, 大塚弘毅, 嶋森直子, 寺戸雄一, 西川かおり, 森秀明, 奴田原紀久雄, 高城靖志, 渡邊卓: 転移性腎腫瘍の3例 -超音波画像所見の考察-. 第61回日本臨床検査医学会学術集会, 福岡, 2014年11月22-25日.

16. 佐藤秀昭, 原島敬一郎, 中村守秀, 奥田信之, 岩堀公基: 男性の内臓脂肪面積と健康障害の検討. 日本総合健診医学会第43回大会, 富山, 2015年2月20-21日.

論文

1. Kishino T^{1,2}, Mori T³, Kawai S², Mori H⁴, Nishikawa K⁴, Hirano K⁵, Matsushima S¹, Ohtsuka K^{1,2}, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} (1Department of Laboratory Medicine Kyorin University School of Medicine, 2Department of Clinical Laboratory Kyorin University Hospital, 3Department of Surgery Kyorin University School of Medicine, 4The Third Department of Internal Medicine Kyorin University School of Medicine, 5Department of Pathology Kyorin University School of Medicine): Carcinosarcoma, an atypical subset of gallbladder malignancies. J Med Ultrason 41: 487-490, 2014.
2. Matsushima S¹, Ohtsuka K¹, Ohnishi H¹, Fujiwara M², Nakamura H³, Morii T⁴, Kishino T¹, Goto H⁵, Watanabe T¹ (1Department of Laboratory Medicine Kyorin University School of Medicine, 2Department of Pathology Kyorin University School of Medicine, 3Chemical Resources Laboratory Tokyo Institute of Technology, 4Department of Orthopedic Surgery Kyorin University School of Medicine, 5Department of Respiratory Medicine Kyorin University School of Medicine): V843I, a lung cancer predisposing EGFR mutation, is responsible for resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors. J Thorac Oncol 9:1377-1384, 2014.
3. Watanabe K¹, Kishino T^{1,2}, Sano J¹, Ariga T¹, Okuyama S³, Mori H³, Matsushima S², Ohtsuka K^{1,2}, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} (1Department of Clinical Laboratory Kyorin University Hospital, 2Department of Laboratory Medicine Kyorin University School of Medicine, 3The Third Department of Internal Medicine Kyorin University School of Medicine): Relationship between epicardial adipose tissue thickness and early impairment of left ventricular systolic function in patients with preserved ejection fraction. Heart Vessels (in press)

著書

1. 岸野智則: 第14章 臨床医学総論 7. 感染症/9. 消化器系/11. 麻酔科学/12. 集中治療学/13. 手術医学/15. 臨床免疫学. 臨床工学技士 ポケットレビュー帳. 福長一義編. 東京, メジカルビュー社, 2015. p.313-316/325-329/333-342/347-351.

● 理学療法学科 ●

基礎理学療法学研究室

講演

講演

1. 石川綾子, 一場友実, 中村花穂, 栗原恵蘭, 宮田翔平, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信:高齢者疑似体験装具を用いた傾斜杖歩行時の呼吸循環応答の検討. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
2. 芝原美由紀, 一場友実:障害者スポーツ「ボッチャ」による高齢者へ健康延伸への取り組み. 第3回南多摩福祉機器展, 八王子, 2014年11月15-16日.
3. 石井博之:健康寿命延伸を目的とした, スポーツ機会の提供プログラムの紹介. 平成26年度 福祉用具講習会 南多摩福祉機器展, 八王子, 2014年11月15-16日.
4. Ichiba T, Miyagawa T, Tsuda T :The combined effects of manual chest squeezing coordinated expiration with relaxation postures in patients with chronic obstructive pulmonary disease(COPD). 60th International Respiratory congress, America, December 9th-12th,2014.
5. Miyagawa T, Ichiba T: Effects of cough with mechanical assisted cough (MAC) and high frequency chest wall oscillation (HFCWO) for airway clearance. 60th International Respiratory congress, America, December 9th-12th,2014.

講習会講師

1. 石井博之:ロコモティブシンドローム～健康で活力ある人生を送るために～. はむら健康の日 健康講座, 羽村, 2014年5月18日.
2. 石井博之:骨太教室 運動編 骨の健康づくり～体を動かして丈夫な骨を保つ～. 羽村市健康講座 骨粗鬆症セミナー, 羽村, 2014年7月30日.
3. 石井博之:理学療法士協会東京都士会新人教育プログラム. 国際社会と理学療法, 東京, 2014年9月6日.
4. 石井博之:公開講座 健康とスポーツ. 八王子, 2014年10月25日.
5. 石井博之:国際協力へ自分を動かした動機とその後にどのように結びつけたか. JOCV(青年海外協力隊)リハビリテーションネットワークセミナー, 東京, 2015年3月29日.

論文

1. 石井博之, 進邦徹夫, 富田泰彦, 古本泰之:杏林CCRC 構想における教育活動「地域と大学の在り方」. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 1:156-166,2014.
2. 太田ひろみ, 石井博之, 八木橋宏勇:杏林CCRC 構想における地域活動「大学の地域活動の在り方」. 杏林大学杏林CCRC研究所紀要 1:143-155,2014.

運動障害系理学療法学研究室

講演

学会発表

1. 村上幸士, 齋藤昭彦, 吉川幸次郎:腰痛の有無において比較した腹横筋の収縮に伴う内腹斜筋の変化. 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014年5月9-11日.
2. 村上幸士:超音波診断装置Real-time Tissue Elastographyを用いた腰部筋群の筋硬度測定における信頼性. 第69回日本体力医学会大会, 長崎, 2014年9月19-21日.

講演・一般向け公開講座

1. 榎本雪絵:高齢者が効果的に運動を行うために～筋肉が動くメカニズム. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年4月12日.
2. 榎本雪絵:高齢者が効果的に運動を行うために～筋の加齢に

ついて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年4月26日.

3. 榎本雪絵:高齢者が効果的に運動を行うために～高齢者の筋力トレーニングについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年5月10日.
4. 榎本雪絵:高齢者が効果的に運動を行うために～高齢者のバランスについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年5月24日.
5. 榎本雪絵:高齢者が健やかな生活を続けるために. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年6月7日.
6. 榎本雪絵:高齢者が効果的に運動を行うために～バランストレーニングについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年6月14日.
7. 榎本雪絵:高齢者における運動の継続の重要性について. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年6月28日.
8. 榎本雪絵:高齢者のための運動のポイント～高齢者における運動の重要性とその効果. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2014年7月1日.
9. 榎本雪絵:高齢者のための運動のポイント～高齢者における運動の注意点. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2014年7月8日.
10. 榎本雪絵:高齢者のための運動のポイント. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2014年7月15日.
11. 榎本雪絵:高齢者における運動の効果と注意点. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年9月20日.
12. 榎本雪絵:高齢者における運動の注意点～脈拍と血圧管理. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年10月11日.
13. 榎本雪絵:生活期のリハビリテーション～自立支援と地域連携. 第5回西多摩南多摩ブロック学術集会, 青梅, 2014年11月2日.
14. 榎本雪絵, 小平めぐみ:従来型施設からユニット型施設変換における比較～利用者のADLの視点から. リハビリテーション・ケア合同研究大会長崎2014, 長崎, 2014年11月6-8日.
15. 榎本雪絵, 新井尚子, 中村真理, 萩原直美:健康教室の住民による自主運営化に向けた実践. リハビリテーション・ケア合同研究大会長崎2014, 長崎, 2014年11月6-8日.
16. 小平めぐみ, 榎本雪絵:従来型からユニット型施設変換における比較～職員の意識・利用者との関わりから～. リハビリテーション・ケア合同研究大会長崎2014, 長崎, 2014年11月6-8日.
17. 榎本雪絵, 新井尚子, 中村真理, 萩原直美:健康教室への参加が地域在住高齢者の身体機能に及ぼす影響. 日本在宅ケア学会学術大会2014, 福岡, 2014年11月29-30日.
18. 榎本雪絵:高齢者の呼吸について. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年11月18日.
19. 榎本雪絵:高齢者におけるストレッチについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2014年12月12日.
20. 榎本雪絵:体力測定結果と生活改善について. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2015年1月10日.
21. 榎本雪絵:高齢者における運動プログラムについて. 三鷹いきいき健康サロン, 三鷹, 2015年1月13日.
22. 榎本雪絵:高齢者の筋力トレーニングについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2015年1月24日.
23. 榎本雪絵:自宅でもできる運動プログラム. 三鷹いきいき健康サロン, 三鷹, 2015年2月15日.

- 榎本雪絵:高齢者のバランスについて. 八王子市地域包括支援センター子安, 八王子, 2015年2月28日.
- 榎本雪絵:運動効果と生活状況について. 三鷹いきいき健康サロン, 三鷹, 2015年3月28日.

論文

- 榎本雪絵:健やかな生活を続けるための運動のポイント. 杏林医学会雑誌45(2別):69-70,2014.
- 村上幸士:超音波診断装置Real-time Tissue Elastographyを用いた腰部筋群の筋硬度測定における信頼性. 体力科学63(6):718, 2014.
- 齋藤昭彦:モーターコントロールアプローチと腰痛. 医道の日73(8):40-43,2014.

著書

- 齋藤昭彦:クリニカルリーズニング. 系統別・治療手技の展開改訂第3版. 竹井仁・他編. 東京, 協同医書, 2014.p71-76.
- 齋藤昭彦:神経系のメカニズムと主な神経の触診. 東京, ジャパンライム, 2014.
- 齋藤昭彦:ニューロダイナミックテスト1(胸腰部~下肢). 東京, ジャパンライム, 2014.
- 齋藤昭彦:ニューロダイナミックテスト2(上肢). 東京, ジャパンライム, 2014.
- 齋藤昭彦:神経系機能障害の治療. 東京, ジャパンライム, 2014.

小児発達障害系理学療法学研究室

講演

- 中野尚子, 木原秀樹, 多賀厳太郎, 渡辺はま, 中野純司, 小西行郎:超・極低出生体重児におけるGeneral Movements (GMs)評価と発達後の関連性. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 芝原美由紀:小学生の障がい者(児)スポーツ理解とアダプテッドスポーツの可能性. 車いすバスケット体験事業から. 第61回日本小児保健学会大会, 福島, 2014年6月20日.
- 儀間裕貴, 木原秀樹, 中野尚子, 渡辺はま, 中村友彦, 多賀厳太郎:広汎性発達障がい児の出生早期における運動・行動特性. 日本赤ちゃん学会第14回学術集会, 川崎, 2014年6月21-22日.
- 中野尚子:自発運動評価(GMs)での発達後予測 Prediction of neurodevelopmental outcome in infants by means of general movements assessment. 第50回日本産期・新生児医学会学術集会, 浦安, 2014年7月13-15日.
- 中野尚子, 荒井洋, 北原エリ子:ボバースアプローチの有効性の検証. 第4回日本ボバース研究会学術大会, 大阪, 2014年7月26-27日.
- 中野尚子:脳性麻痺児の評価と治療. 脳性麻痺8週間講習会, 東京, 2014年7月31日.
- 中野尚子:脳性麻痺児の治療. 脳性麻痺8週間講習会, 東京, 2014年8月14日.
- 中野尚子:新生児の評価general movements (GMs). 理学療法士講習会 NICUにおける理学療法, 安曇野, 2014年11月1-2日.
- 芝原美由紀, 一場友実:地(知)の拠点整備事業 地域志向教育研究 障害者スポーツ「ボッチャ」による高齢者へ健康延伸への取り組み. 第3回南多摩福祉機器展, 八王子, 2014年11月15日.
- 芝原美由紀:学齢児のアダプテッドスポーツへの取り組み. 車

いすバスケット種目, 第35回医療体育研究会・第18回日本アダプテッド体育・スポーツ学会第16回合同大会, 西宮, 2014年12月6日.

- 中野尚子:general movements(GMs)の正常発達軌跡. GMs研究会, 東京, 2014年12月27日.
- 中野尚子:小児領域の理学療法について. 国立障害者リハビリテーションセンター, 所沢, 2015年1月20日.
- 中野尚子:成人脳性麻痺の評価と治療. さいたまみずき園, さいたま, 2015年3月10日.

論文

- Shibahara M, Makita M, Makita H: The current status of sports participation by children with physical disabilities and the expectations and anxieties mothers regarding sports participation. BIOPHILIA 2014(1):25-31,2014.
- Kanemaru N¹, Watanabe H¹, Kihara H², Nakano H, Nakamura T², Nakano J³, Taga G¹, Konishi Y⁴ (¹The University of Tokyo, ²Nagano Children's Hospital, ³The Institute of Statistical Mathematics, ⁴Doshisha University): Jerky spontaneous movements at term age in preterm infants who later developed cerebral palsy. Early Human Development 90:387-392, 2014.

著書

- 中野尚子:抱っこと移動. 脳性まひ児の家庭療育 原著第4版. Eva Bower著, 上杉雅之監訳. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2014.p.175-191.

神経障害系理学療法学研究室

講演

学会発表

- 橋立博幸, 澤田圭祐, 浅野克俊, 嶋崎聡美, 鈴木友紀, 千葉美幸, 笹本憲男:発症4か月後にADL全介助レベルで自宅退院した脳梗塞両片麻痺者に対する30か月間の訪問リハビリテーションが日常生活動作および介護負担に及ぼす効果の検討. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 橋立博幸, 大沼剛, 澤田圭祐, 原田和宏:屋外活動が困難な地域在住高齢者における屋内生活空間での日常生活動作と離床時間の縦断的变化の関連. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 橋立博幸, 大沼剛, 澤田圭祐, 阿部勉:屋外活動が困難な地域在住高齢者における立ち上がり着座動作能力と屋内生活空間の日常生活動作との関連. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 妹尾浩一, 橋立博幸:障害者支援施設に入所した維持期脳卒中片麻痺者の歩行機能に対する長期的なリハビリテーションの介入効果. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 大沼剛, 橋立博幸, 阿部勉:訪問リハビリテーション利用者における屋内生活空間の身体活動低下に関わる要因. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 澤田圭祐, 橋立博幸, 大沼剛, 浅野克俊, 嶋崎聡美, 千葉美幸, 笹本憲男:屋外活動が困難な地域在住高齢者における床からの立ち上がり動作能力の低下が屋内生活空間の活動に及ぼす影響. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- 橋立博幸, 原田和宏, 藤澤祐基, 潮見泰藏:維持期脳卒中片

麻痺者における麻痺側および非麻痺側のFunctional reachの差異と片脚立位バランスとの関連. 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会, 名古屋, 2014年6月5-7日.

8. 藤澤祐基, 岡島康友, 山田深, 橋立博幸, 潮見泰藏: 片麻痺の麻痺手書きにおける手の遠位・近位運動の分離性とパフォーマンス. 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会, 名古屋, 2014年6月5-7日.
9. 橋立博幸, 澤田圭祐, 古屋仁美, 芦川聡宏, 千葉美幸, 広瀬知宏, 笹本憲男: 維持期脳卒中両片麻痺者に対する長期訪問リハビリテーションが収縮期血圧改善に及ぼす効果の検討. 第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 2014年10月25-26日.
10. 澤田圭祐, 橋立博幸, 千葉美幸, 古屋仁美, 笹本憲男: 転倒後に生活機能が低下した高齢の慢性閉塞性肺疾患既往者に対する訪問リハビリテーションの介入効果. 第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 2014年10月25-26日.
11. 大沼剛, 橋立博幸, 張振志, 阿部勉, 井口大平, 齋藤崇志, 柴喜崇: 訪問リハビリテーションを利用する在宅要介護者の屋内生活空間の身体活動と生活意欲, 動作能力との関連. 第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 2014年10月25-26日.
12. 澤口知良, 橋立博幸, 小池俊人, 森井翔大, 新實良太, 藤澤祐基, 潮見泰藏: 異なる駆動条件によって測定した車椅子直線駆動能力評価の信頼性と測定結果の差異. 第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 2014年10月25-26日.
13. 橋立博幸, 原田和宏, 山上徹也, 浅川康吉, 二瓶健司, 吉井智晴, 金谷さとみ: 脳血管疾患を有する軽度認知障害高齢者におけるアバシーの有無と離床時間との関連. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
14. 原田和宏, 橋立博幸, 二瓶健司, 山上徹也, 浅川康吉, 吉井智晴, 金谷さとみ: 軽度認知障害高齢者の同居家族における介護負担感と介護に対する態度の関連. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
15. 金谷さとみ, 橋立博幸, 原田和宏, 浅川康吉, 山上徹也, 二瓶健司, 吉井智晴: 脳血管性認知症を有する地域在住高齢者における日常生活活動と行動心理症状との関連. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年11月5-7日.
16. 池内貴美, 橋立博幸, 山本久美, 守口慎吾, 堀内典生: 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中者の身体能力簡易テストによる入院日数の予測. 回復期リハビリテーション病棟協会第25回研究大会, 松山, 2015年2月27-28日.
17. 池内貴美, 橋立博幸, 山本久美, 守口慎吾, 堀内典生: 回復期リハビリテーション病棟の脳卒中者における身体能力簡易テストの検者間信頼性と妥当性. 回復期リハビリテーション病棟協会第25回研究大会, 松山, 2015年2月27-28日.
18. 守口慎吾, 池内貴美, 橋立博幸, 山本久美, 堀内典生: 回復期リハビリテーション病棟入院時における脳卒中者の身体能力簡易テストと自宅退院との関連. 回復期リハビリテーション病棟協会第25回研究大会, 松山, 2015年2月27-28日.

講演・一般向け公開講座

1. 橋立博幸: 高齢者が健やかに生活するための運動とリハビリテーションへ介護の必要がない日常生活のために～. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2014年11月18, 25日, 12月2, 9, 16日.

論文

1. 原田和宏¹, 大川直美², 赤澤直紀², 井上優¹, 橋立博幸¹ (吉備国際大学, ²河西田村病院): 脳血管障害片麻痺者に生じる

二次性筋量減少に関するレビュー. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要15:1-5, 2014.

2. 潮見泰藏¹, 橋立博幸¹ (杏林大学保健学部理学療法学科): 高齢者の生活機能に対する理学療法 神経疾患を有する高齢者の生活機能に対する理学療法の取り組み. 理学療法 31:383-391, 2014.
3. 橋立博幸: 老年症候群と理学療法 理学療法で頻尿・失禁や便秘は改善するか?. 理学療法ジャーナル48:423-432, 2014.

著書

1. 橋立博幸: 評価の進め方. PT・OTビジュアルテキストリハビリテーション基礎評価学. 潮見泰藏編. 東京, 羊土社, 2014. p.25-32.
2. 橋立博幸: 医療面接と情報収集. PT・OTビジュアルテキストリハビリテーション基礎評価学. 潮見泰藏編. 東京, 羊土社, 2014. p.33-48.
3. 橋立博幸: 関節可動域(ROM). テキストリハビリテーション基礎評価学. 潮見泰藏編. 東京, 羊土社, 2014. p.178-200.
4. 橋立博幸: 姿勢バランス. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰藏編. 東京, 羊土社, 2014. p.227-250.
5. 藤澤祐基: 観察に基づく動作分析. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰藏, 下田信明編. 東京, 羊土社, 2014. p.313-323.

内部障害系理学療法学研究室

講演

1. Saito R, Yatsunami M, Shibahara M, Niwa M: Prediction of care burden using a three - dimensional accelerometer that assesses sleep in home stroke patients and their caregivers. The 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy congress and Expo, Yokohama, June 18th-21st, 2014.
2. 遠藤辰明, 土居健次朗, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 門馬博, 八並光信: 荷重による足部横アーチ高の変化と足部形状の比較. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
3. 土居健次朗, 遠藤辰明, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 吉岡伸彦: 歩行時床反力と足部アーチ構造荷重応答能の関係: 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
4. 齋藤匠, 土居健次朗, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 門馬博, 八並光信: バイオメカニクスによる神経伸長と筋出力の変化の関連について. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
5. 大堀航輔, 土居健次朗, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 門馬博, 八並光信: カーフレイズにおける足部構造の変化とCOPの関係性. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
6. 冬部拓海, 栗野宏志, 土居健次朗, 遠藤辰明, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 門馬博, 八並光信: 下肢変形性関節症患者における足部形態の特徴. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
7. 内野翔太, 土居健次朗, 河原常郎, 大森茂樹, 倉林準, 門馬博, 八並光信: 体幹肢位の違いが片脚スクワット動作時に下肢3関節へ与える影響. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜,

2014年5月30日-6月1日。

8. 齋藤利恵, 八並光信: 日中活動量と夜間睡眠の解析による在宅生活支援へのアプローチ-Actigraphを用いて-。第11回東京都作業療法学会, 八王子, 2014年10月26日。

論文

1. 石濱裕規¹, 都丸哲也¹, 大高恵莉¹, 千野直一¹, 金森宏¹, 門馬博, (¹医療法人社団永生会): 下肢ボツリヌス治療とリハビリテーション. POアカデミージャーナル 22: 121-126, 2014.
2. 門馬博, 下島裕美, 三浦雅文¹, 齋藤昭彦(¹群馬医療福祉大・リハビリテーション学部): 臨床実習における患者全体像把握を促すツールとしての4ボックス法活用の試み. リハビリテーション教育研究 20: 140-141, 2015.

● 作業療法学科 ●

母子保健学研究室

講演

1. 加藤英世, 石野晶子: 看護師の職務と使命. 東京都立小平高等学校キャリア教育, 東京, 2014年5月27日。
2. 加藤英世: 子育て相談で大切にしたいこと「子どももお母さんも笑顔になあれ〜」. 羽村市子育て研修会. 羽村, 2014年6月17日。
3. 加藤英世: いのちの教育. 八王子学園八王子中学校, 八王子, 2014年6月18日。
4. 石野晶子, 加藤英世, 場家美沙紀, 松田博雄: 乳幼児をもつ保護者の予防接種に対する認識と要望. 第61回日本小児保健学会, 福島, 2014年6月20-22日。
5. 加藤英世: 現代の中学生の健康課題と生活指導. 八王子学園八王子中学校, 八王子, 2014年8月23日。
6. 加藤英世, 石野晶子: 幼児の発達と生活習慣. 八王子中村学園 なかの幼稚園, 八王子, 2014年9月20日。
7. 楠田美奈, 岩見文博, 石野晶子, 加藤英世, 大屋千鶴, 片桐朝美, 太田ひろみ, 大嶺智子, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第73回日本公衆衛生学会, 宇都宮, 2014年11月5-7日。
8. 古橋晃一, 加藤英世, 石野晶子, 酒井順子, 大塚絢子, 田邊郁恵, 太田ひろみ, 岩見文博, 楠田美奈, 照屋浩司: 幼児および学童の重心動揺量の変化とその関連要因に関する研究. 第61回日本学校保健学会, 金沢, 2014年11月14-16日。

論文

1. 石野晶子, 加藤英世: HPVワクチン接種対象年齢をもつ保護者のHPVワクチンに対する認識に関する研究. 保健の科学 57(5).2014. (印刷中)

著書

1. 加藤英世: 保健医療・保健福祉編 母子保健対策. エssenシャル 社会・環境と健康第2版第7刷. 高島豊編著. 東京, 医歯薬出版, 2015.

運動器障害作業療法学研究室

講演

1. Mochizuki H, Takeda K, Shimoda N: Sex differences of behavioral ability in mental rotation tasks of hand pictures. 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in the 48th

Japanese Occupational Therapy Congress and Expo, Yokohama, Japan. June 18th, 2014.

2. 望月秀樹: パワーリハビリテーション疾患別運営方法. パワーリハビリテーション指導員研修会, 東京, 2014年6月28-29日。
3. 望月秀樹: パワーリハビリテーション各論・評価学・トレーニング学. 富山パワーリハビリテーション基礎課程研修会, 富山, 2014年7月12-13日。
4. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論および各論. パワーリハビリテーション実務者研修会, 広島, 2014年8月3日。
5. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論・評価学・トレーニング学. パワーリハビリテーション実務者研修会, 仙台, 2014年9月14日。
6. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論・評価学・トレーニング学. パワーリハビリテーション実務者研修会, 仙台, 2014年11月9日。
7. 望月秀樹: パワーリハビリテーション運営理論II. パワーリハビリテーション上級指導員研修会, 東京, 2014年11月30日。
8. 原田祐輔, 望月秀樹, 森田千晶, 下田信明: 脳血管疾患を対象とした訪問リハビリテーションの効果判定指標に関する文献的研究. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡, 2014年11月29-30日。
9. 森田千晶: 筋電義手-適合と作業療法. 東京大学附属病院三四郎セミナー, 東京, 2014年9月25日。

論文

1. 原田祐輔, 長谷川利夫¹(¹杏林大・保・精神障害作業療法学): 訪問リハビリテーションに従事する作業療法士のメンタルヘルスに関する研究-病院に勤務する作業療法士との比較を通して-. 作業療法 33:324-336, 2014.

著書

1. 森田千晶: 三輪書店国家試験模試専門問題義肢器具・福祉用具. 東京, 三輪書店, 2014.

受賞, 特許等知的財産関係, 学会主催, 報告書

1. 望月秀樹: 日本自立支援介護学会第8回学術大会企画・開催, 東京, 2014年5月24-25日。
2. 望月秀樹: 第14回パワーリハビリテーション学術大会企画・開催, 東京, 2015年3月7-8日。

精神障害作業療法学研究室

講演

1. 早坂友成: 第2回OT塾-作業療法を後進に正しく伝える. OT塾実行委員会, 東京, 2014年4月19-20日。
2. 長谷川利夫: 隔離・身体拘束縮減のために何かできるか. 桜ヶ丘記念病院 行動制限最小化委員会主催研修会, 多摩, 2014年5月30日。
3. 長谷川利夫, 鈴木健太郎, 原田祐輔, 田中忍, 金谷光子: Multidisciplinary in Psychiatric care-Promoting factor and inhibiting factor on cooperation-, 第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会, 横浜, 2014年6月20日。
4. Hayasaka T: Current state of return-to-work support program in the treatment of depression. 16th International congress of the world federation of occupational therapists, Yokohama, June 20th, 2014.
5. 鈴木健太郎, 佐藤知正: The making of the support network for elderly people life in the region. 第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会, 横浜, 2014年6月20日。

6. 鈴木健太郎: 食事のケア. 介護職員研修会, 東金, 2014年6月22日.
7. 鈴木健太郎: リハビリテーションとソフト・ハード支援. NPHC研究会, 東京, 2014年7月5日.
8. 長谷川利夫: 病棟転換型居住系施設の本質. 全国精神障害者地域生活支援協議会第18回全国大会in大阪, 大阪, 2014年7月19日.
9. 早坂友成: 精神科リエゾンチームにおける作業療法の役割-作業療法士の立場から. 日本総合病院精神医学会-精神科リエゾンチーム講習会基礎編2014, 東京, 2014年7月19日.
10. 早坂友成: うつ病治療と復職支援-大学病院とクリニックと作業療法. 第94回東京デイケア連絡会, 東京, 2014年7月26日.
11. 長谷川利夫: 職員は何故身体拘束をしようと思うのか? ~心理的側面の大規模調査から見えてきたもの. 高齢者新聞社高齢者住宅フェア2014, 東京, 2014年7月30日.
12. 鈴木健太郎: 作業療法と感覚統合. 相談職員向け講座, 東京, 2014年8月14日.
13. 鈴木健太郎: 子どもの発達と感覚統合. 通園職員向け講座, 東京, 2014年8月14日.
14. 早坂友成: うつ病患者に対する作業療法研修会. 日本作業療法士協会重点課題研修会, 札幌, 2014年8月23-24日.
15. 長谷川利夫: 障害者権利条約からみる我が国の精神医療の現状と展望. 埼玉県精神障害者社会福祉事業所運営協議会2014年度全体研修会, 埼玉, 2014年9月2日.
16. 長谷川利夫: 病棟転換問題は我が国の精神医療にどう影響を与えるか. 東京, 2014年9月3日.
17. 長谷川利夫: 隔離身体拘束の実施と権利擁護. 第22回日本精神科救急学会, 旭川, 2014年9月5日.
18. 長谷川利夫: 病棟転換問題の経緯と現状. 作業療法と作業科学の勉強会, 広島, 2014年9月6日.
19. 長谷川利夫: 身体拘束を巡る状況は危機的である. 身体拘束廃止の立法化を求める会東京集会シンポジウム, 東京, 2014年9月14日.
20. 長谷川利夫: 我が国の精神保健福祉の今後の方向性. 大阪精神医療人権センター, 全国精神障害者地域生活支援協議会合同研修会, 大阪, 2014年10月3日.
21. 長谷川利夫: 地域生活を取り戻すために何が出来るか. 青梅ピアサポートグループぶーけ研修会, 青梅, 2014年10月4日.
22. 長谷川利夫: 精神障害を持つ人の地域生活. 社会福祉法人うのいの里職員研修, 東京, 2014年10月7日.
23. 鈴木健太郎: 地域における高齢者生活支援ネットワーク作り. 第11回東京都作業療法士学会, 八王子, 2014年10月26日.
24. 長谷川利夫: 出鼻をくじかれた障害者権利条約批准元年. 日本病院・地域精神医学会第57回仙台総会, 仙台, 2014年10月31日.
25. 長谷川利夫: 隔離・身体拘束の実態と権利擁護. 日本病院・地域精神医学会第57回仙台総会, 仙台, 2014年11月1日.
26. 長谷川利夫: 病棟転換型居住系施設の本質. 日本作業科学研究会 第18回作業科学セミナー, 宇部, 2014年11月15日.
27. 早坂友成: リワークプログラムにおける作業療法の活用. 2014年度臨床精神科作業療法研究会, 福島, 2014年11月29日.
28. 長谷川利夫: 精神障害を持つ方の「住まい」と「暮らし」を街の中で ~障害者権利条約と精神保健福祉法の示す未来~. 内閣府障害者週間連続セミナー, 東京, 2014年12月6日.
29. 早坂友成: うつ病の見立て-人と病と作業療法. 平成26年度静岡県精神科作業療法研究会, 静岡, 2015年2月21日.

論文

1. 長谷川利夫: 今, 改めて隔離・身体拘束を問う 隔離・身体拘束についての問題提起. 病院・地域精神医学57(1): 40-42, 2014.
2. 長谷川利夫: 「病棟転換型居住系施設」問題からみるわが国の人権意識. ノーマライゼーション34(7):30-32, 2014.
3. 長谷川利夫: 現場からのレポート病棟転換型居住系施設の問題点と我が国の精神保健医療福祉のあるべき方向. 福祉労働 144:117-123, 2014
4. 長谷川利夫: ウォッチング! 総合支援法 精神科病院「病棟転換」問題をめぐって これまでとこれからの動き. DPI われら自身の声 30(2):25-27, 2014 .
5. 原田祐輔, 長谷川利夫: 訪問リハビリテーションに従事する作業療法士のメンタルヘルスに関する研究~病院に勤務する作業療法士との比較を通して. 作業療法33(4):324-336, 2014.
6. 長谷川利夫: 「平等」という考えを根底から覆す病棟転換. 精神医療 77:43-47, 2015.
7. 長谷川利夫: すべての人はどこに誰と住むか自由である「病棟転換型居住系施設」の問題点. 部落解放705:46-55, 2015.

著書

1. 長谷川利夫: 病院を出て地域で暮らしたい~精神科病院の社会的入院問題を検証する. 東京, やどかり出版, 2014.
2. 早坂友成: 作業療法実践の仕組み-改訂第2版. 東京, 協同医書出版, 2014.
3. 早坂友成: 第1回PT・OT国家試験模擬試験-精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2014.
4. 早坂友成: 第2回PT・OT国家試験模擬試験-精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2014.

その他

1. 鈴木健太郎: NPHC研究会企画・開催, 東京, 2014年7月5日.
2. 早坂友成: 第54回作業療法全国研修会企画・開催. 青森, 2014年8月30-31日.
3. 早坂友成: 第55回作業療法全国研修会企画・開催. 奈良, 2014年12月6-7日.
4. 鈴木健太郎: 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障害者等居住小委員会平成26年度公開講座企画, 東京, 2015年2月26日.

認知障害作業療法学研究室

講演

1. 河野眞, 春原るみ, 石本馨, 田中紗和子, 西本敦子, 田畑梨杏里, 古郡恵, 知脇希: 原発事故避難者支援活動における参加住民グループの3年間の変遷~福島県二本松市の浪江町出身者向け仮設団地2か所での活動経験から~. 第21回多文化間精神医学会学術総会, 長崎, 2014年5月24日.
2. 三浦和, 伊藤智典, 河野眞: 日本におけるリハビリテーション災害支援システムの現状と流れ. 第49回日本理学療法学会大会, 横浜, 2014年6月1日.
3. Mochizuki H, Takeda K, Shimoda N: Sex differences of behavioral ability in mental rotation tasks of hand pictures. 16th World Congress of Occupational Therapists, Yokohama, June 18th, 2014.
4. Kono M, Ishii K, Tomita C, Tabata R, Ishimoto K: Use of Occupational Activities for Community Re-Building-Report on support activity for refugees from nuclear plant accident in Fukushima. 16th International Congress of WFOT, Yokohama,

June 19th, 2014.

- Hayashi Y, Thomas Y, Kono M, Hai HH: Seeding Occupational Therapy in Cambodia, Laos, Myanmar and Vietnam-A collaborative approach of on line education. 16th International Congress of WFOT, Yokohama, June 19th, 2014.
- Kono M, Ueno E, Nozaki T: Introduction to Community-centered Occupational Therapy. 16th International Congress of WFOT, Yokohama, June 21st, 2014.
- Furugori M, Kono M, Sunohara R, Morishita N, Nishimoto A: Effective activity and role of Occupational Therapist in Disaster support-Experiences from Pakistan earthquake and the great Japan earthquake. 16th International Congress of WFOT, Yokohama, June 21st, 2014.
- Ishii K, Kono M: Activity Report-The Project of Rehabilitation Capacity Improvement in National Rehabilitation Center for Children with Disabilities in Tajikistan-Possibility of the Introduction of Occupational Therapy in Tajikistan. 16th International Congress of WFOT, Yokohama, June 21st, 2014.
- Kono M: Puberty and Sexuality of Children with Disabilities. School No.72, Tajikistan, August 31st, 2014.
- Kono M: Inclusive Education in Japan, Ministry of Education. Tajikistan, September 3rd, 2014.
- Miura N, Ito T, Kono M, Morishita N: Challenges to support activities by therapists for survivors from the Eastern Japan earthquake. 12th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine, Tokyo, September 17th, 2014.
- 下田信明:障がいを持つ人の生活とリハビリテーション・作業療法. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2014年10月7, 14, 21, 28日, 11月4日.
- 原田祐輔, 望月秀樹, 森田千晶, 下田信明:脳血管疾患を対象とした訪問リハビリテーションの効果判定に関する文献的研究. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡, 2014年11月30日.
- 長島泉, 望月秀樹, 武田湖太郎, 下田信明:手の心的回転課題遂行に年齢が及ぼす影響. 第6回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 秋田, 2015年2月21日.
- 森下賀子, 河野眞, 三浦和:コミュニティの再構築に向けたリハビリテーション -福島県浪江町への災害リハビリテーション支援活動の報告-. 第20回日本集団災害医学会学術集会, 東京, 2015年2月27日.
- 三浦和, 半田一登, 河野眞:生活機能に特化したトリアージ法の開発 -災害リハビリテーション活動を円滑に進めるために-. 第20回日本集団災害医学会学術集会, 東京, 2015年2月28日.
- 河野眞:私の国際協力遍歴とこれから. JOCVリハビリテーションネットワークセミナー2015, 東京, 2015年3月29日.

論文

- 長島泉, 塚原健介¹, 園田圭一¹, 成嶋のり子¹, 下川和佳², 濱田剛利¹, 下田信明¹(¹土浦厚生病院, ²グループホームオアシス):居場所の再獲得-避難転院した慢性期統合失調症者の2年間・作業療法士の視点から-. 精神科治療学29:1319-1324, 2014.
- 知脇希, 河野眞, 石本馨:福島第一原発事故避難者への支援活動-JOCVリハビリテーションネットワークの活動とその変化-. 暮らしとリハビリテーション2:50-56, 2014.

著書

- 下田信明:意欲・自己効力感の評価. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.111-121.
- 下田信明:摂食・嚥下検査. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.122-125.
- 下田信明:上肢機能検査. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.274-282.
- 下田信明:作業療法評価. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.340-342.
- 下田信明:起居・移動. 日常生活活動・社会生活行為学. 濱口豊太編集. 東京, 医学書院, 2014. pp.62-82.
- 河野眞:気分(うつ・不安)・思考の評価. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.102-110.
- 河野眞:運動発達の評価. リハビリテーション基礎評価学. 潮見泰蔵・下田信明編集. 東京, 羊土社, 2014. pp.324-334.
- 河野眞, JANNET事務局:CBRガイドライン概要版&CBRマトリックス使用の手引き. 東京. 障害分野NGO連絡会, 2014.

その他

- 下田信明:エンド・オブ・ライフケア;市民と専門家の協働・連携 総論. 日本在宅ケア学会誌18:31, 2014.
- 河野眞:地域ささえあいネットワーク作りに向けて-CBRセミナー・ワークショップ企画・開催, 福島, 2014年11月1日.
- 下田信明:日本在宅ケア学会平成26年度第1回公開講座企画・開催, 福岡, 2014年11月29日.
- 河野眞:第1回リハビリテーション災害支援 研修・意見交換会企画・開催, 東京, 2015年3月22日.

中枢神経障害作業療法学研究室

講演

- 村松憲, 玉木徹, 駒形純也, 丹羽正利, 升佑二郎, 石黒友康, 佐々木誠一:糖尿病性ニューロパチーによって γ 運動ニューロンが減少する. 第21回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 千葉, 2014年4月20日.
- 村松憲, 玉木徹, 駒形純也, 丹羽正利, 升佑二郎, 長谷川達也, 佐々木誠一, 石黒友康:OLETFラット(2型糖尿病モデルラット)の γ 運動ニューロンが選択的に減少する. 第49回日本理学療法学術大会, 横浜, 2014年5月30日-6月1日.
- Saito R, Yatsunami M, Shibahara M, Niwa M:Prediction of care burden using a three-dimensional accelerometer that assesses sleep in home stroke patients and their caregivers. The 16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy congress and Expo, Yokohama, June 18th-21st, 2014.
- 大城直美, 村松憲, 佐々木誠一, 丹羽正利:高血糖によって誘発される腹壁筋運動ニューロンの障害. 第48回日本運動障害研究会, 東京, 2014年7月19日.
- Naomi O, Muramatsu K, Sasaki S, Niwa M:Hyperglycemia causes the reduction of numbers and sizes of abdominal motoneurons in STZ rats. 第37回日本神経科学大会, 横浜, 2014年9月11-13日.
- Muramatsu K, Tamaki T, Komagata J, Niwa M, Ishiguro T, Hasegawa T, Sasaki S:The number of gamma motoneurons decreased in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF)

rat.第37回 日本神経科学大会, 横浜, 2014年9月11-13日.

7. 村松憲, 玉木徹, 丹羽正利, 長谷川達也, 佐々木誠一, 石黒友康. DPN はOLETF ラットの γ 運動ニューロンを選択的に減少させる. 第29回日本糖尿病合併症学会, 東京, 2014年10月3-4日.
8. 齋藤利恵, 八並光信: 日中活動量と夜間睡眠の解析による在宅生活支援へのアプローチ-Actigraphを用いて-. 第11回東京都作業療法学会, 東京, 2014年10月26日.
9. 田中紗和子: ニカラグアにおける障害者支援の現状-青年海外協力隊, 障害児通所施設での活動経験-. 国際保健医療学会, 東京, 2014年11月3日.
10. 村松憲, 玉木徹, 丹羽正利, 長谷川達也, 石黒友康, 佐々木誠一: 運動療法はOLETFラットの γ 運動ニューロン障害を予防する. 第49回日本運動障害研究会, 東京, 2015年1月17日.

論文

1. 村松憲¹, 玉木徹¹, 丹羽正利, 升佑二郎¹, 永野克人¹, 長谷川達也², 石黒友康¹, 佐々木誠一³(¹健康科学大学, ²山梨県富士山科学研究所, ³茨城県立医療大学): 2型糖尿病ラットの運動ニューロンが減少する. 運動障害研究会誌24(1): 25-28, 2014.
2. Niwa M, Muramatsu K¹, Sasaki S²(¹Health Science University, ²Ibaraki Prefectural University of Health Sciences): Discharge patterns of abdominal and pudendal nerves during induced defecation in anesthetized cats. Journal of Physiological Sciences 65:223-231, 2015.

● 診療放射線技術学科 ●

画像診断学研究室

講演

1. 土屋充輝, 本谷啓太, 似鳥俊明: 9年後に骨転移にて診断された頸動脈小体原発悪性傍神経節腫の1例. 第445回日本医学放射線学会関東地方会, 東京, 2014年6月14日.
2. 黒木一典: 「出血と虚血 腹部:IVRも併せて」. 第6回吉祥寺画像診断セミナー. 武蔵野, 2014年8月2日.
3. 黒木一典: 「急性肺血栓塞栓の画像診断とIVR」. 第31回多摩画像医学カンファレンス, 武蔵野, 2015年2月7日.
4. 黒木一典: 「出血と虚血の画像診断とIVR」. 第3回鎌倉画像診断セミナー, 藤沢, 2015年3月26日.

論文

1. 黒木一典: すくらびすむすーある市民ランナーの悩み?-. 画像診断 34(5):399, 2014.
2. 本谷啓太: 骨軟部腫瘍における画像評価最前線 骨軟部腫瘍におけるMRI診断. 臨床整形外科 50(3):223-228, 2015.

著書

1. 本谷啓太: 5章外傷, 障害 疲労骨折 脆弱性骨折 軟骨下脆弱性骨折. 骨軟部画像診断スタンダード. 青木純, 青木隆敏, 上谷雅孝, 江原茂, 神島保, 杉本英治, 福田国彦, 藤本肇編. 東京, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. p.200-207.

その他

1. 黒木一典: 座長, 第73回日本医学放射線学会総会, 一般演題(CyPos+口演) 診断: 心血管1, 横浜, 2014年4月11日.
2. Kazunori Kuroki: 13th Nordic Japan PACS Symposium : Session 5: Intervention - part 2, Turku(Finland), June 11-13,

2014.

3. 黒木一典: 座長, 多摩TACEを考える会, 特別講演「Intermediate Stage 肝細胞の治療と予後」, 国分寺, 2015年3月11日.

診療放射線技術学研究室

講演

1. Sakamoto T, Adachi T, Murakami S, Ikeda I, Saito H: A basic study of 3D linear attenuation coefficient reconstruction by MVCBCT. 第107回日本医学物理学学会学術大会, 横浜, 2014年4月10-13日.
2. Arai T, Sakamoto T, Ikeda I, Adachi T, Murakami S, Takagi M, Furuya J, Hashimoto N, Takahashi S, Maruyama Y: A study of source position measurement for RALS using Imaging Plate. 第107回日本医学物理学学会学術大会, 横浜, 2014年4月10-13日.
3. 賀山恒, 坂本岳士, 清水裕太, 安達卓哉, 清水真太郎, 市川浩三, 大戸眞喜男: 320列CT における高速Volume撮影に関する基礎的検討. 第70回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2014年4月10-13日.
4. 森美加, 服部理恵, 浜野麻美, 酒田美香, 吉田和広, 天野与稔: Dynamic CT/切除標本CT fusion画像を用いた乳癌組織型の検討. 第11回日本乳癌学会中部地方会, 岐阜, 2014年9月13-14日.
5. 森美加, 小林邦典, 宮崎功, 大戸眞喜男, 木村徳典, 五明美穂, 似鳥俊明: Real-IR 3D T1-Weighted Black-Blood法を用いたVessel wallイメージングの検討. 第42回日本磁気共鳴医学会大会, 京都, 2014年9月18-20日.
6. 高久啓志, 安達卓哉, 賀山恒, 坂本岳士, 市川浩三, 高橋正勝, 大戸眞喜男, 清水真太郎: 高速CT撮影を用いた息止め困難な患者の動きに対する基礎的検討. 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 札幌, 2014年10月9-11日.
7. 森美加: 外傷症例の読影. 救急撮影技師認定機構・東京部会一般撮影班共催講習会, 東京, 2014年10月18日.
8. 小林邦典: 多発性嚢胞腎-腎容積の測定法-. 第10回千葉エコー研究会, 千葉, 2014年11月30日.
9. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: フリーラジカルに対する唐辛子辛味成分カプサイシンの捕捉活性に関する速度論的研究. 第12回日本機能性食品医学会総会, 京都, 2014年12月13-14日.

論文

1. Higashihara E, Nutahara K, Tanbo M, Hara H, Miyazaki I, Kobayashi K, Nitatori T: Does increased water intake prevent disease progression in autosomal dominant polycystic kidney disease?. Nephrol Dial Transplant. 2014. doi: 10.1093/ndt/gfu093. (published online).
2. Watanabe A¹, Seno S¹, Kogure E¹, Seki K², Sakamoto T, Okada Y, Shimazu H¹ (¹Dept. of Physiology, Biological Engineering & Medical Information Engineering, ²Dept. of Radiation Safety Management): Kinetic Study of the Radical Scavenging of Capsaicin in Homogeneous Solutions and Aqueous Triton X-100 Micellar Suspensions. Journal of Food Science 80(3): 577-583, 2015.
3. 小山謙¹, 森美加, 河島あき²(¹東京ベイ・浦安市川医療センター, ²東京北医療センター): Fracture Cross search 第4回上腕骨近位端骨折①診断, 東京放射線 61(718):18-22, 2014.

4. 小山謙¹, 森美加, 河島あき² (東京ベイ・浦安市川医療センター, ³東京北医療センター): Fracture Cross search 第5回上腕骨近位端骨折①治療, 東京放射線 61(719):17-20, 2014.

医用理工学研究室

著書

1. 佐々木博, 小池貴久, 勝俣健一郎 共著: 診療放射線技師を目指す学生のための医用X線CT工学. 東京, コロナ社, 2015.

放射線安全管理学研究室

講演

1. 松塚雅博, 金子哲也, 関健介, 松井幸恵, 大熊鈴子, 石川友美: 水質プロフィールによる多摩西部と国分寺崖線の湧水の検討. 環境科学会2014年会, つくば, 2014年9月18-19日.
2. 関健介, 後藤恭一, 松塚雅博, 金子哲也: 水泳プール水の有機物量評価に関しての一考察. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014年10月5-6日.
3. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: フリーラジカルに対する唐辛子辛味成分カプサイシンの捕捉活性に関する速度論的研究. 第12回日本機能性食品医用学会総会, 京都, 2014年12月13-14日.

論文

1. Watanabe A¹, Seno S¹, Kogure K¹, Seki K, Sakamoto T², Okada Y³, Shimazu H¹ (¹ Dept. of Physiology, Biological Engineering & Medical Information Engineering, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ., ²Dept. of Medical Radiological Technology, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ., ³ Dept. of Analytical Chemistry, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ.): Kinetic Study of the Radical Scavenging of Capsaicin in Homogeneous Solutions and Aqueous Triton X-100 Micellar Suspensions. Journal of Food Science 80(3): 577-583, 2015.

量子医療技術学研究室

講演

1. Yamamoto T, Koike T, Muroi K: Investigation of fission products in the atmosphere at elementary schools using a portable dust sampler. 第70回 日本放射線技術学会総会, 横浜, 2014年4月13日.
2. Komi S, Sato E, Hakamata Y, Hata H, Inoue Y: Preliminary investigation of the optimal slice angle for measuring amygdala activity in fMRI. Section for Magnetic Resonance Technologists 23rd Annual Meeting, Italy, May 10th-16th, 2014.
3. Isobe T, Okamoto Y, Shida T, Hirano Y, Sato E, Shoda J: Non-Invasive Assessment of Ectopic Fat in Non-Alcoholic Fatty Liver Disease Using ¹H-MRS. Section for Magnetic Resonance Technologists 23rd Annual Meeting, Italy, May 10th-16th, 2014.
4. Sato E, Isobe T, Yamamoto T, Tadano K, Akutsu H, Matsumura A: Method for selectively depicting each motor tract by diffusion tensor tractography using probabilistic diffusion tractography analysis. Section for Magnetic

Resonance Technologists 23rd Annual Meeting, Italy, May 10th-16th, 2014.

5. 佐藤英介: スタンフォード大学研修「何を見て, 何を学び, 何を感じ, 今後はどう活かすか」. 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 札幌, 2014年10月9-11日.
6. Komi S, Sato E, Hakamata Y, Mizuno K, Hata H, Tagaya H, Inoue Y: A Pilot study Optimal slice angle to Inhibit the BOLD signal loss of the Amygdala in 3T-MRI. Asia-Oceania Congress of Medical Physics, Vietnam, October 23rd-25th, 2014.
7. Watanabe Y, Takei H, Isobe T, Takada K, Sato E, Shuto N, Noda S, Inoue S, Nakagawa T, Yogo K, Hayakawa K: EPID response to the energy spectrum changes by human body transmission. Asia-Oceania Congress of Medical Physics, Vietnam, October 23rd-25th, 2014.
8. 山本智朗: Unclear MedicineからNuclear Medicine. 第2回吉祥寺セミナー散乱線, 武蔵野, 2014年10月25日.
9. Takei H, Watanabe Y, Isobe T, Takada K, Shigematsu N, Sato E, Hara H, Muraishi H, Hasegawa T: Response of Electric Portal Imaging Device to Energy Spectrum of Therapeutic Photons. European Congress of Radiology, Austria, March 4th-8th, 2015.
10. Yamamoto T: The Status of Radiological Technologist and Education for Radiological Technology in JAPAN. Japan-China Nuclear Medicine joint symposium in Okinawa, Okinawa, March 14th-15th, 2015.

論文

1. Sato E, Yamamoto T¹, Shikano N², Ogura M², Nakai K¹, Yoshida F¹, Uemae Y¹, Takada T¹, Isobe T¹, Matsumura A¹ (¹University of Tsukuba, ²Ibaraki Prefectural University of Health Sciences): Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control. Appl Radiat Isot 88:99-103, 2014.
2. 吉田冴子¹, 根部谷吾¹, 藤原康作¹, 佐藤英介¹, 廣瀬稔¹ (¹北里大学): 有限要素法を用いた電気メスの伝導電流による植込み型心臓ペースメーカーに対する電磁干渉評価法. 医療機器学 84(3):343-348, 2014.
3. Isobe T¹, Fujibuchi T², Takada K¹, Mori S³, Kato H⁴, Kasahara T⁵, Sato E, Sakae T¹ (¹University of Tsukuba, ²Ibaraki Prefectural University of Health Sciences, ³Toranomon Hospital, ⁴Chiba University): Measurement of dose distribution during combined IVR procedure using the film method. Progress in Nuclear Science and Technology 4: 816-819, 2014.
4. Okamoto Y¹, Kemp GJ², Isobe T¹, Sato E, Hirano Y¹, Shoda J¹, Minami M¹ (¹University of Tsukuba, ²University of Liverpool): Changes in diffusion tensor imaging (DTI) eigenvalues of skeletal muscle due to hybrid exercise training. Magn Reson Imaging 32(10): 1297-1300, 2014.

著書

1. 山本智朗: 第5部ガンマカメラを用いた検査第6章消化器系. 核医学技術総論. 日本核医学技術学会編. 京都, 山代印刷, 2014. p.341-361.
2. 佐藤英介, 高田健太: 1章 基礎医学大要. 診療放射線技師 先手必勝 弱点克服 完全ガイド 第1版. 福士政広編集. 東京, メジカルビュー社, 2014. p.2-33.
3. 佐藤英介, 高田健太: 診療放射線技師 第66回国家

試験(2014年) 対照表ダウンロードサービス 基礎医学
大要. 診療放射線技師 ブルー・ノート 基礎編 3rd
edition 第3版. 福士政広編集. 東京, メジカルビュー
社, 2014. p.1-4.

その他

1. 山本智朗:本棚(「逐次近似画像再構成法の基礎」に関する書評). アイソトープニュース(No. 721). 2014年5月.
2. Komi S, Sato E, Hakamata Y, Hata H, Inoue Y: The SMRT First Place Research Focus Award, Section for Magnetic Resonance Technologists 23rd Annual Meeting, Italy, May 10th-16th, 2014.
3. Isobe T, Okamoto Y, Shida T, Hirano Y, Sato E, Shoda J: The 2nd Place Research Focus Poster Award, Section for Magnetic Resonance Technologists 23rd Annual Meeting, Italy, May 10th-16th, 2014.

分析化学Ⅱ研究室

講演

1. 渡辺篤志, 瀬野晋一郎, 木暮英輝, 関健介, 坂本岳士, 岡田洋二, 嶋津秀昭: フリーラジカルに対する唐辛子辛味成分カプサイシンの捕捉活性に関する速度論的研究. 第12回日本機能性食品医学会総会, 京都, 2014年12月13-14日.

論文

1. Watanabe A, Seno S, Kogure E, Seki K, Sakamoto T, Okada Y, Shimazu H: Kinetic study of the radical scavenging of capsaicin in homogeneous solutions and aqueous Triton X-100 micellar suspensions. J Food Sci 80:C577-C583, 2015.